

JP1 Version 10

JP1/Data Highway - Server ユーザーズガイド

解説・手引・操作書

3021-3-143-20

JP1 *Version*
10

前書き

■ 対象製品

適用 OS のバージョン、JP1/Data Highway - Server が前提とするサービスパックやパッチなどの詳細については、リリースノートを確認してください。

R-1523P-1AA4 JP1/Data Highway - Server 10-50 (適用 OS : Windows Server 2008 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2012 R2)

R-1S23P-1A81 JP1/Data Highway - Server 10-50 (適用 OS : Red Hat Enterprise Linux)

R-1523P-3AA4 JP1/Data Highway - Server Starter Edition 10-50 (適用 OS : Windows Server 2008 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2012 R2)

R-1S23P-3A81 JP1/Data Highway - Server Starter Edition 10-50 (適用 OS : Red Hat Enterprise Linux)

R-1523P-4AA4 JP1/Data Highway - Server Starter to Standard Upgrade 10-50 (適用 OS : Windows Server 2008 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2012 R2)

R-1S23P-4A81 JP1/Data Highway - Server Starter to Standard Upgrade 10-50 (適用 OS : Red Hat Enterprise Linux)

■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■ 商標類

Firefox は Mozilla Foundation の登録商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

OS X は、Apple Inc.の商標です。

RSA および BSAFE は、米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Safari は、Apple Inc.の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by Ben Laurie for use in the Apache-SSL HTTP server project.

Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).

Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from <ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/>

This product includes software developed by Ralf S. Engelschall <rse@engelschall.com> for use in the mod_ssl project (<http://www.modssl.org/>).

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

This product includes software developed by Daisuke Okajima and Kohsuke Kawaguchi (<http://relaxngcc.sf.net/>).

This product includes software developed by the Java Apache Project for use in the Apache JServ servlet engine project (<http://java.apache.org/>).

This product includes software developed by Daisuke Okajima and Kohsuke Kawaguchi (<http://relaxngcc.sf.net/>).

This product includes software developed by Andy Clark.



JP1/Data Highway - Server は、米国 EMC コーポレーションの RSA BSAFE(R)ソフトウェアを搭載しています。

HITACHI
Inspire the Next

株式会社 日立製作所



■ マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

製品名称	略称	
Microsoft(R) Internet Explorer(R)	Internet Explorer	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Datacenter	Windows Server 2008 R2	Windows
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard	Windows Server 2012	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Datacenter		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Standard	Windows Server 2012 R2	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Datacenter		
Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System	Windows XP Professional	
Microsoft(R) Windows(R) XP Professional x64Edition		
Microsoft(R) Windows Vista(R) Home Premium	Windows Vista	
Microsoft(R) Windows Vista(R) Business		
Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate		
Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise		
Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional	Windows 7	
Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise		
Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate		
Windows(R) 8	Windows 8	
Windows(R) 8 Pro		

製品名称	略称	
Windows(R) 8 Enterprise		
Windows(R) 8.1	Windows 8.1	
Windows(R) 8.1 Pro		
Windows(R) 8.1 Enterprise		

■ 関連製品

JP1/Data Highway - Server の関連製品を次に示します。

- ・ JP1/Data Highway - Automatic Job Executor

JP1/Data Highway - Server のファイル転送機能を，自動化するためのデータ送受信クライアント製品です。

■ 発行

2014 年 9 月 3021-3-143-20

■ 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2012, 2014, Hitachi, Ltd.

All Rights Reserved. Copyright (C) 2012, 2014, Hitachi Solutions, Ltd.

変更内容

変更内容(3021-3-143-20) JP1/Data Highway - Server 10-50

追加・変更内容	変更箇所
次の前提 OS をサポートしました。 • Windows 8.1 • MAC OS	1.1.1(1) , 1.1.1(2) , 1.1.2(1)
次のソフトウェアをサポートしました。 • Internet Explorer 11	1.1.2(1)
Windows OS で使用できる Web ブラウザに、次のブラウザをサポートしました。 • Mozilla FireFox ESR 24 • Mozilla FireFox ESR 31	1.1.2(1)
指定した日付までに受信者がファイルをダウンロードしていない場合に、受信者に通知メールを送信できるようになりました。	2.3
指定した日付までに承認者が承認または却下していない場合に、承認者に通知メールを送信できるようになりました。	2.3
圧縮方式が【拡張】の配送ポリシーの場合のフォルダ送信時に、フォルダ内のファイルとフォルダの合計数が 262,144 個まで送信できるようになりました。	2.3
FAQ を追加しました。	付録 A

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

このマニュアルは、JP1/Data Highway - Server（以降、JP1/DH - Server と省略します）の使い方について説明したものです。

■ 対象読者

このマニュアルは、JP1/DH - Server で操作を行う方を対象にしています。なお、次の内容を理解されていることを前提としています。

- Windows の基本的な操作方法
- Web ブラウザの基本的な操作方法

■ このマニュアルの読み方

このマニュアルは、次に示す章と付録から構成されています。

第 1 章 ご利用になる前に

JP1/DH - Server をご利用になる前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

第 2 章 JP1/DH - Server の操作

JP1/DH - Server の操作手順について説明しています。

第 3 章 トラブルシュート

JP1/DH - Server を利用するにあたっての、トラブル解決の手段について説明しています。

付録

JP1/DH - Server の FAQ と用語解説を掲載しています。

■ Windows の操作説明で使用する表記

Windows の操作説明で使用する表記を次に示します。

記号	意味
[]	ボタンやテキストボックスなど、画面に表示されている要素を示します。
[] - []	画面に表示されるメニューやアイコンなどを選択する操作を示します。

このマニュアルで使用する画面は、前提 OS を Windows 7、ブラウザを Internet Explorer 8 で作成しています。ご使用の OS、ブラウザにより表示される画面がマニュアルと異なる場合があります。詳細はご使用の OS のヘルプをご確認ください。

■ ディレクトリ・サーバ上のドメインについて

このマニュアルで、ディレクトリ・サーバ上のドメインを表す場合は、その旨説明しています。

特に断り書きがない場合の「ドメイン」は、JP1/DH - Server のグループの管理単位を意味します。

■ JP1/DH - Server の表記について

このマニュアルで、JP1/DH - Server と JP1/Data Highway - Server Starter Edition を区別する場合は、その旨説明しています。

特に断り書きがない場合、JP1/DH - Server の表記には、JP1/Data Highway - Server Starter Edition も含まれます。

目次

前書き	2
変更内容	6
はじめに	7

1	ご利用になる前に	11
1.1	前提環境	12
1.1.1	前提 OS	12
1.1.2	前提ソフトウェア	13
1.2	ご利用上の注意	15
1.2.1	Web ブラウザの画面設定に関する注意事項	15
1.2.2	【新規送信】画面に関する注意事項	15
1.2.3	ダウンロードに関する注意事項	16
1.2.4	その他の注意事項	17
2	JP1/DH - Server の操作	19
2.1	ログインまたはログアウトする	20
2.1.1	【標準パスワード認証】でログインする	20
2.1.2	【電子証明書認証】でログインする	21
2.2	利用権限と画面構成	24
2.3	ファイル／メッセージを送信する	28
2.4	メール記載 URL からファイルを受信する	35
2.4.1	システムに登録済みのユーザがファイルを受信する	35
2.4.2	システムに未登録のユーザがファイルを受信する	37
2.5	受信ボックスからファイルを受信する	38
2.6	送受信履歴を確認／削除する	40
2.7	承認申請を管理する	43
2.7.1	メール記載 URL から承認申請を許可／却下する	43
2.7.2	承認申請を許可／却下する	44
2.8	招待者を設定する	46
2.8.1	招待者を作成／編集する	46
2.8.2	招待者を有効化／無効化／削除する	49
2.9	オプションを設定する	50
2.9.1	パスワードを変更する	50
2.9.2	メール言語を変更する	51

3	トラブルシュート	52
3.1	トラブルシュート	53
3.2	クライアント環境を確認する	55
3.3	インターネットオプションの設定の確認	56
3.3.1	[セキュリティ] タブ	56
3.3.2	[プライバシー] タブ	58
3.3.3	[詳細設定] タブ	59
3.4	Java コントロールパネルの設定の確認	62
3.4.1	[一般] タブ	62
3.4.2	[Java] タブ	63
3.4.3	[詳細] タブ	64
3.5	送受信時トラブル対応の確認	65
3.5.1	送信トラブルの場合（アドレス帳が表示されない場合）	65
3.5.2	Java コンソールログの採取	67
3.6	「ページエラー」または、「Error」ダイアログの回避手順	69
3.6.1	ブラウザのキャッシュクリア手順	69
3.6.2	Java のキャッシュクリア手順	72
3.6.3	Java のプロキシ設定手順	74
3.7	お問い合わせについて	77

付録 78

付録 A	FAQ	79
付録 B	各バージョンの変更内容	83
付録 B.1	10-10 の変更内容	83
付録 C	このマニュアルの参考情報	84
付録 C.1	関連マニュアル	84
付録 C.2	このマニュアルでの表記	84
付録 C.3	英略語	84
付録 C.4	デフォルトのインストール先フォルダ	85
付録 C.5	KB（キロバイト）などの単位表記について	85
付録 D	用語解説	86

索引 89

1

ご利用になる前に

この章では、JP1/DH - Server をご利用になる前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

1.1 前提環境

JP1/DH - Server のクライアント PC の前提環境を次に示します。

なお、提供元のサポートが終了したソフトウェアを使用した際の不具合については、そのお問い合わせに回答できないことがあります。

1.1.1 前提 OS

次のどれかが必要です。

(1) Windows の場合

- Windows(R) XP Professional (32bit 版) (Service Pack 3 以降)
- Windows(R) XP Professional (64bit 版) (Service Pack 2 以降)
- Windows Vista(R) Home Premium (32bit 版) (Service Pack 2 以降)
- Windows Vista(R) Business (32bit 版) (Service Pack 2 以降)
- Windows Vista(R) Ultimate (32bit 版) (Service Pack 2 以降)
- Windows Vista(R) Enterprise (32bit 版) (Service Pack 2 以降)
- Windows(R) 7 Professional (32bit 版/64bit 版) (Service Pack 1 以降)
- Windows(R) 7 Enterprise (32bit 版/64bit 版) (Service Pack 1 以降)
- Windows(R) 7 Ultimate (32bit 版/64bit 版) (Service Pack 1 以降)
- Windows(R) 8 (32bit 版/64bit 版) ※
- Windows(R) 8 Pro (32bit 版/64bit 版) ※
- Windows(R) 8 Enterprise (32bit 版/64bit 版) ※
- Windows(R) 8.1 (32bit 版/64bit 版) (Update あり/なし) ※
- Windows(R) 8.1 Pro (32bit 版/64bit 版) (Update あり/なし) ※
- Windows(R) 8.1 Enterprise (32bit 版/64bit 版) (Update あり/なし) ※

注※

Modern UI での動作はサポート対象外です。

(2) Mac OS の場合

- OS X Mavericks

1.1.2 前提ソフトウェア

JP1/DH - Server で利用できる Web ブラウザ、および Java ソフトウェアを示します。

なお、ご利用の環境に問題がないかどうかは、ログイン画面で「クライアント環境の確認」リンクをクリックすると確認できます。詳細については、「[3.2 クライアント環境を確認する](#)」を参照してください。

なお、Web ブラウザや Java コントロールパネルの設定が適切でない場合、JP1/DH - Server が正しく動作しません。Web ブラウザや Java コントロールパネルの設定については、「[3. トラブルシュート](#)」を参照してください。

(1) Web ブラウザ

OS が Windows の場合に、利用できる Web ブラウザを次に示します。

- Internet Explorer 7※1
- Internet Explorer 8※1
- Internet Explorer 9※1
- Internet Explorer 10※1※2
- Internet Explorer 11※1
- Mozilla FireFox ESR 24
- Mozilla FireFox ESR 31

注※1

Internet Explorer を使用する場合、次の機能を有効にする必要があります。

- クッキー (Cookie)
- JavaScript (Ajax 機能および DOM 機能を含む)
- カスケーディング・スタイル・シート (CSS)
- SSL (HTTP 通信暗号化)
- Java アプレット

なお、Internet Explorer 8 以降の場合は、上記に加えて「互換表示」機能を有効にしてください。

注※2

Internet Explorer 10 を使用する場合のブラウザの設定は、次のとおりです。

- 拡張保護モード：無効
- 本サーバ URL を信頼済みサイトに登録する (保護モード：無効)

Mac OS の場合に、利用できる Web ブラウザを次に示します。

- Safari 7

(2) Java ソフトウェア

次のどれかの Java ソフトウェアが必要です。

- Java Runtime Environment Version 6.0 (32bit 版) (Update24 以降)
- Java Runtime Environment Version 6.0 (64bit 版) (Update41 以降)
- Java Runtime Environment Version 7.0 (32bit 版) (Update51 以降)
- Java Runtime Environment Version 7.0 (64bit 版) (Update51 以降) ※

注※

Mac OS の場合は、このバージョンのソフトウェアを使用してください。

1.2 ご利用上の注意

JP1/DH - Server をご利用になる上での注意事項を次に示します。

1.2.1 Web ブラウザの画面設定に関する注意事項

- 文字のサイズは [中] を指定してください。それ以外のサイズを指定した場合、画面が正しく表示されないことがあります。
- 画面の縮尺率は [100%] を指定してください。それ以外の縮尺率を指定した場合、画面が正しく表示されないことがあります。

1.2.2 [新規送信] 画面に関する注意事項

- ファイル選択ダイアログの動作

[新規送信] 画面でのファイル選択時に表示されるファイル選択ダイアログは、前回行ったファイル選択操作で選択したファイルが配置されているフォルダを、初期フォルダとして表示します。表示対象のフォルダがネットワークドライブ上のフォルダや、ネットワークフォルダの場合、ファイル選択ダイアログの表示が非常に遅くなることがあります。

また、画像ファイルのプレビューを実行すると、JAVA プロセスの CPU 使用率が高くなり、操作できなくなります。ファイル選択ダイアログでは、画像ファイルのプレビューを実行しないでください。

- 送信が途中で失敗したにもかかわらず、送信ボックスに履歴が存在する場合

履歴を詳細表示してファイルをダウンロードすると、不完全なファイルのダウンロードとなり、ダウンロード容量も本来のファイルサイズ分の容量が増加します。

送信に失敗したにもかかわらず、送信ボックスに履歴が存在しているときは、ダウンロードしないで履歴を削除してください。

次に示す場合、送信が途中で失敗したときでも送信ボックスに履歴が存在する可能性があります。

- 排他ロックされたファイル/排他ロックされたファイルを含むフォルダを送信した。
- アクセス権のないファイルを送信した。
- 存在しないファイル/フォルダ（ネットワーク/ネットワークドライブ切断時含む）を送信した。
- 送信完了直前に中止した。
- 送信中にブラウザを終了した。
- java または iexplore プロセスを強制終了した。
- ファイル選択欄に最大登録ファイル数より多い数のファイル/フォルダをドラッグ&ドロップしたあと、Delete キーで削除した場合

[新規送信] 画面で有効な送信先を指定したあと、ファイル選択欄に最大登録ファイル数より多い数のファイル/フォルダを同時にドラッグ&ドロップすると、エラーダイアログが表示されます。その際、

ファイル/フォルダを Delete キーで削除して最大登録ファイル数以下の項目数とした場合、次に示す現象が発生して、ファイルが送信できないように見えます。

- [送信開始] ボタンが無効の状態に見えます。なお、マウスオーバーすると有効化された表示になります。
- 表示上、削除した項目が削除されていないように見えます。なお、実際の送信対象からは削除されています。

この現象が発生した状態でも送信は可能ですが、Delete キーで削除した項目は送信されません。上記の現象は右クリックから削除を選択した場合は発生しません。また、ご利用の JRE のバージョンによっては発生しません。

- ファイル送信時に [ローカルにコピーしてから送信する] チェックボックスを選択した場合
[ローカルにコピーしてから送信する] チェックボックスを選択するときは、対象のファイル/フォルダをローカル環境にコピーするための空き容量が必要です。事前に、環境変数 TEMP で指定されているフォルダ内の空き容量が十分かを確認してください。空き容量が不足している場合は、エラーとなります。環境変数 TEMP には実在するフォルダが指定されている必要があります。なお、環境変数 TEMP の場所をご使用のマシンの [システムのプロパティ] で確認できます。

1.2.3 ダウンロードに関する注意事項

- 圧縮ファイルの送信失敗ダウンロード時のダウンロード量
圧縮したファイルの送信に失敗し、サーバ上に不完全なファイルが残っている状態でダウンロードを行うと、本来のファイルサイズ分のダウンロード量がカウントされます。不完全なファイルは約 3 分で自動的に削除されますので、この間、送信ボックスからのダウンロードはしないでください。また、自動的に削除されない場合は、配送を送信ボックスから削除してください。
- メッセージだけの配送で、承認時に「少なくとも 1 つのファイルのダウンロードを必要とする」設定をした場合
[承認申請一覧画面] から承認操作を実行しようとする、「承認操作を実施するためには、ファイルを 1 つ以上ダウンロードする必要があります。」というメッセージが表示され、承認操作ができなくなります。この場合は、承認依頼メールに記載された URL から承認処理を実施してください。
- ファイルダウンロード時の保存先
ファイルのダウンロード時に、すでにクライアントに存在するファイルを上書き保存しようとする、ファイルの上書き保存に失敗し、アラートダイアログに「ファイルが見つかりませんでした」と表示されることがあります。これは、クライアント側のファイルが読み取り専用、またはファイルを編集集中などの理由が考えられます。
ファイルを上書き保存する場合、あらかじめファイルの読み取り専用属性を外すなどして、ファイルが上書きできる状態にしてください。また、保存先のフォルダのアクセス権がない場合も同様のエラーとなります。ファイルの保存先には、アクセス権のあるフォルダを指定してください。
- ファイルダウンロード時に [ローカルに受信してからコピーする] チェックボックスを選択する場合

[ローカルに受信してからコピーする] チェックボックスを選択するときは、対象のファイル/フォルダをローカル環境に受信するための空き容量が必要です。事前に、環境変数 TEMP で指定されているフォルダ内の空き容量が十分かを確認してください。空き容量が不足している場合は、エラーとなります。環境変数 TEMP には実在するフォルダが指定されている必要があります。なお、環境変数 TEMP の場所をご使用のマシンの [システムのプロパティ] で確認できます。

- 圧縮機能を利用して送信したファイルをダウンロード中に中止する場合
ファイル送信時に、圧縮方式を [強], [中], [弱] をどれかに指定した場合、またはフォルダを送信した場合、ファイルダウンロード時の [中止] ボタンを押しても、ダウンロードが中止されないことがあります。その場合は、アプレットのウィンドウを閉じて中止してください。
- 圧縮機能を利用して送信したファイルのダウンロード進捗状況表示
ファイル送信時に、圧縮方式を [強], [中], [弱] をどれかに指定した場合、またはフォルダを送信した場合、ファイルダウンロード時の進捗が 0% から進まないことがあります。実際にはファイルのダウンロードが進んでいます。圧縮ファイルの解凍が始まると進捗状況が反映されます。
- ファイルダウンロード時の進捗状況表示
一度ファイルをダウンロードして、再度ダウンロードをした場合に進捗が 0% から進まないことがあります。進捗は 0% と表示されますが、ファイルのダウンロードは進行しています。進捗状況を確認しながらダウンロードをしたい場合は、ブラウザを再起動してダウンロードし直してください。

1.2.4 その他の注意事項

- 海外で利用した場合の時差と保管期間
海外で利用する場合、新規送信の保管期間は送信時には海外の時間を基準として設定されますが、実際の保管期間は JP1/DH - Server が配置されているサーバのタイムゾーン設定に従った時間となります。そのため、JP1/DH - Server のタイムゾーン（例：日本）より時刻が遅いタイムゾーン（例：アメリカ）で利用する場合、保管期限に当日を設定して送信すると、送信直後に保管期限が切れることがあります。JP1/DH - Server が配置されている地域の時間より時刻が遅い地域で利用する場合は、保管期間に余裕を持たせてください。
- クライアント PC が夏時間を採用しているタイムゾーンの場合の保管期間
クライアントが夏時間を採用しているタイムゾーンを時刻に設定している場合で、現在時間が夏時間の期間内、かつ保管設定の最大値が夏時間でない期間内の場合、新規送信時に保管設定を最大値に設定すると送信できません。その場合、最大値より 1 日以上前の日時を設定してください。
- Internet Explorer 8 以降の表示のずれ
Internet Explorer 8 以降を利用すると、一部のボタン位置がずれることがあります。その場合、Internet Explorer の [メニューバー] - [ツール] - [互換表示] を選択すると正常に表示されます。
- サロゲートペア文字について
各入力項目にサロゲートペア文字を含む文字列を入力した場合、最大文字数以下であっても最大長エラーとなる可能性があります。
- 操作中表示されるメッセージ

表示言語に中国語が選択されている場合でも、操作中に表示されるメッセージの一部は英語で表示されることがあります。

- 同一クライアント PC 上の複数ブラウザからの同時利用

同一クライアント PC 上の複数ブラウザから同時に JP1/DH - Server を利用しないでください。システム上の問題で正しく動作しないおそれがあります。また、タブブラウザの場合、複数タブからの同時利用の場合も同様です。

- 各種入力項目の先頭と末尾にスペースを入力しないでください。先頭または末尾にスペースを入力すると正しく認識されないおそれがあります。
- ご利用 JRE マシンの JRE6 のマイナーバージョンが古い場合（6.0.18 以前）、Java アプレット使用開始時に警告ダイアログが表示されます。この場合は詳細情報を確認し「はい」を選択してください。なお、JRE6 は推奨環境である Update 24 以降を使用してください。
- 画面の操作には、画面内のボタンやアンカーを使用してください。Web ブラウザの「戻る」ボタン、「進む」ボタン、「更新」ボタンや Web ブラウザの履歴から操作すると、画面が正しく動作しないおそれがあります。
- 画面操作を行う際に、ボタンの連打をしないでください。ボタンの連打を行うと、画面が正しく動作しないおそれがあります。
- 画面上部に「Loading...」と表示されている間は画面を操作しないでください。「Loading...」と表示されている間に画面を操作すると、画面が正しく動作しないおそれがあります。

2

JP1/DH - Server の操作

この章では、JP1/DH - Server の操作手順について説明しています。

2.1 ログインまたはログアウトする

JP1/DH - Server にログインする手順について説明します。

2.1.1 [標準パスワード認証] でログインする

ユーザ ID とパスワードを利用した [標準パスワード認証] でログインする手順について次に示します。

1. JP1/DH - Server の URL にアクセスします。

ログインページの URL については、代表ユーザ、またはグループ管理者にお問い合わせください。
[ユーザ認証] 画面が表示されます。

2. [標準パスワード認証] ラジオボタンを選択します。ユーザ ID とパスワードを入力して、[ログイン] ボタンをクリックします。

ユーザ ID と初期パスワードについては、代表ユーザ、またはグループ管理者にお問い合わせください。
JP1/DH - Server にログインします。



参 考

表示言語プルダウンメニューで、画面に表示する言語を変更してログインすることもできます。なお、表示言語はログインしたあとでも変更できます。



補足説明

代表ユーザの設定により、前回パスワードを変更してから一定期間が経過したユーザがログインしようとした場合は、パスワード変更画面が表示されます。この場合は、パスワードを変更しないとログインできません。なお、[パスワード変更] 画面が表示された場合でも、電子証明書ではログインできます。

パスワードの変更については「2.9.1 パスワードを変更する」を参照してください。

3. ログアウトする場合は、[ログアウト] をクリックします。

[ユーザ認証] 画面が表示されます。

2.1.2 [電子証明書認証] でログインする

電子証明書を利用してログインする手順について次に示します。

操作の前に

代表ユーザの設定で、電子証明書認証を許可されているグループのユーザは、電子証明書を利用したログインができます。電子証明書を利用して JP1/DH - Server にログインするには、あらかじめ代表ユーザ、またはグループ管理者から認証ファイルを受け取り、電子証明書のパスワードを連絡してもらう必要があります。

なお、招待ユーザの場合、電子証明書ではログインできません。

1. JP1/DH - Server の URL にアクセスします。

ログインページの URL については、代表ユーザ、またはグループ管理者にお問い合わせください。

[ユーザ認証] 画面が表示されます。

2. [電子証明書認証] ラジオボタンを選択します。



3. 「証明書のパス」の[参照] ボタンで、認証ファイルを選択します。

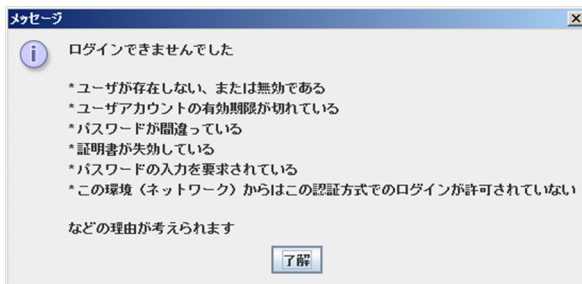
認証ファイルのパスが表示されます。



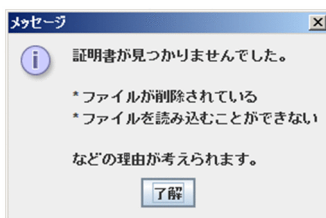
4. 「証明書のパスワード」に、証明書のパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。
JP1/DH - Server にログインします。

注意

- パスワードが不正な場合、次のダイアログが表示されます。[了解] ボタンをクリックすると、パスワード入力画面に戻ります。

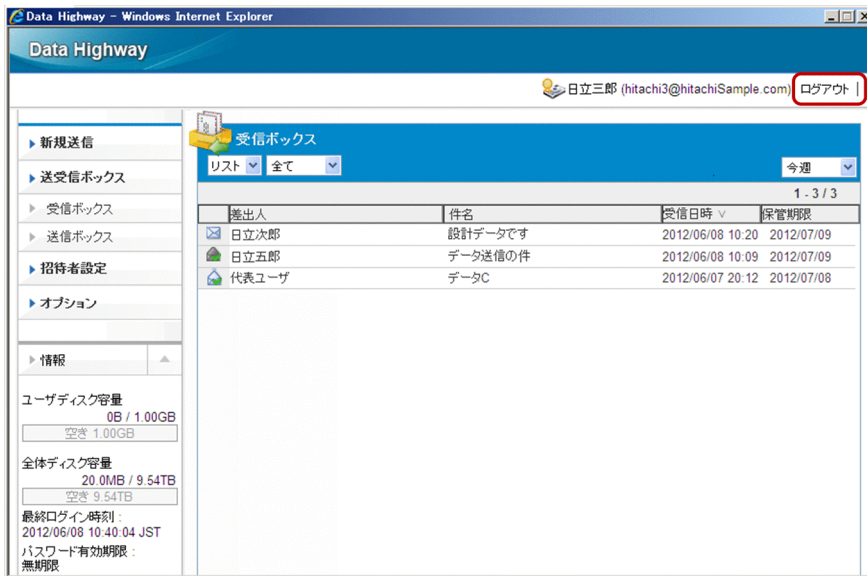


- 指定したパスに電子証明書が存在しない場合は、次のダイアログが表示されます。[了解] ボタンをクリックすると、パスワード入力画面に戻ります。



上記のエラーが解決しない場合は、代表ユーザ、またはグループ管理者に連絡してください。

5. ログアウトする場合は、[ログアウト] をクリックします。
ログアウト画面が表示されます。



参考

電子証明書を利用してログインした場合、ユーザ情報に次のアイコンが表示されます。

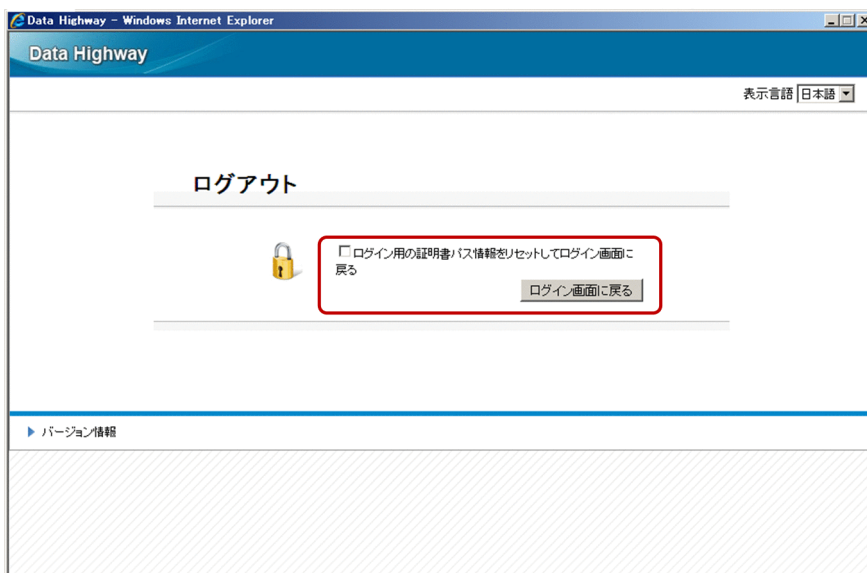


日立三郎 (hitachi3@hitachiSample.com) ログアウト

6. [ログイン用の証明書パス情報をリセットしてログイン画面に戻る] のチェックボックスをチェックするかを選択します。

チェックすると、ログインに利用する証明書パス情報がリセットされます。次回ログイン時は、手順 2 から行う必要があります。

チェックしないと、ログインに利用する証明書パス情報はリセットされません。次回ログイン時は、手順 4 から行う必要があります。



7. [ログイン画面に戻る] ボタンをクリックします。

2.2 利用権限と画面構成

JP1/DH - Server では、ユーザの権限により利用できる機能が異なります。

ユーザの権限と利用可能な機能について、次の表に示します。なお、権限については、代表ユーザ、またはグループ管理者にお問い合わせください。

表 2-1 ユーザの権限と機能

機能名							
ユーザ権限	送信※2	受信	送受信ボックスの利用	招待者設定	オプション	承認・却下 処理	マニュアルの ダウンロード
一般ユーザ	○	○	○	△	△	△	○
招待者※1	○	○	○	×	△	×	○
未登録ユーザ	×	○	×	×	×	×	×

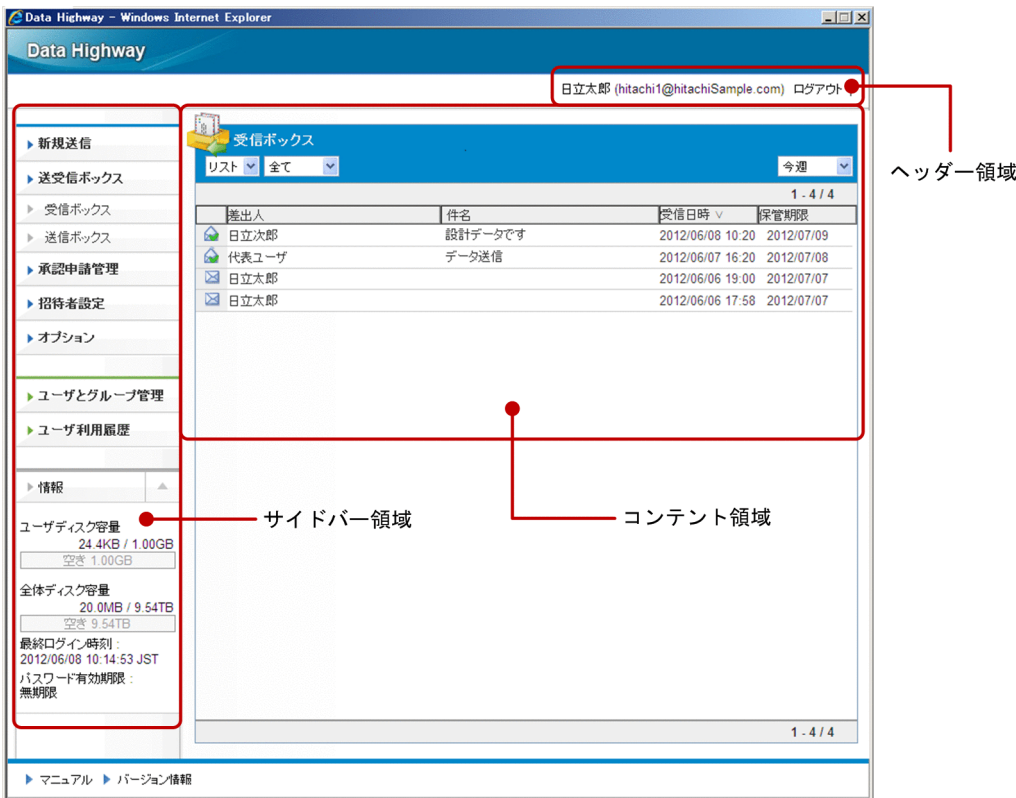
注※1
作成時の設定により、付与されたアカウントに期限が設定されている場合や、送信できる回数が制限されている場合があります。

注※2
ユーザによっては、アドレス帳に未登録の宛先にも送信できます。

(凡例)
○：利用できます。
△：代表ユーザ、またはグループ管理者が利用を許可したユーザの場合は、利用できます。
×：利用できません。

JP1/DH - Server の画面構成について、次に示します。

図 2-1 JP1/DH - Server の画面例



画面に表示される項目を次の表に示します。

表 2-2 画面に表示される項目

項目		説明
ヘッダー領域		- ログインユーザ名:「ユーザ名 (メールアドレス)」形式で表示されます。 [ログアウト] ボタン: JP1/DH - Server からログアウトします。
サイドバー領域	新規送信	新規送信画面が表示されます。
	送受信ボックス	- 受信ボックス: 受信したデータの一覧が表示されます。 - 送信ボックス: 送信したデータの一覧が表示されます。 どちらのボックスの場合も、一覧に表示されたデータを選択して、データが持つファイルをダウンロードできます。
	承認申請管理※	承認者に設定されているユーザの場合、申請された承認が一覧で表示されます。
	招待者設定※	招待者の作成が許可されているユーザの場合に表示されます。
	オプション※	- 認証設定: パスワードの変更ができます。 - 言語: メールに使用する言語を、日本語、中国語、英語から選択します。
	情報	- ユーザディスク容量: ユーザー一人当たりの保管容量です。 ユーザディスクの空き容量を超えて、ファイルを送信できません。 - 全体ディスク容量: ドメインに割り当てられた全体のディスク容量です。空き容量を超えてのファイル送信はできません。

項目		説明
		- 最終ログイン時刻：ユーザがJP1/DH - Server に最後にログインした時刻が表示されます。 - パスワード有効期限：パスワードの有効期限が表示されます。
コンテンツ領域		サイドバー領域で選択した機能に応じた操作画面が表示されます。

注※

代表ユーザ，またはグループ管理者が利用を許可したユーザの場合に表示されるメニューです。

画面に表示されるアイコンの一覧を次に示します。

表 2-3 アイコン一覧

画面		アイコン	説明
[新規送信] 画面			送信設定が完了したことを表します。 ファイル／メッセージの送信設定が完了となった場合に、このアイコンが表示されます。 [送信開始] ボタンのクリックでファイル／メッセージを送信できます。
			送信設定に未入力項目があることを表します。 必要な送信設定に未入力項目がある場合に、このアイコンが表示されます。
			送信設定にエラーがあることを表します。 送信設定に不正な項目がある場合に、このアイコンが表示されます。
			アイコンをクリックすると、設定した宛先を削除します。
			設定した宛先にファイル／メッセージを送る際に、承認処理が必要であることを表します。
ー	[アドレス帳] タブ ・ アドレス一覧		グループを表します。
			ユーザを表します。
	[アドレス帳] タブ ・ 送信アドレス履歴 ・ 受信アドレス履歴		ユーザを表します。
			アイコンをクリックすると、一覧から履歴を削除します。
[送信ボックス] 画面/ [受信ボックス] 画面 共通			配送期限切れであることを表します。ファイルはまだ削除されていません。アイコンをクリックすると [送信ボックス] 画面の場合は [詳細表示]・[削除] メニューが、[受信ボックス] 画面は [詳細表示] メニューが選択できます。
			配送期限切れであることを表します。ファイルはすでに削除されています。アイコンをクリックすると [送信ボックス] 画面の場合は [詳細表示]・[削除] メニューが、[受信ボックス] 画面は [詳細表示] メニューが選択できます。
[送信ボックス] 画面			配送中、または配送待機中であることを表します。 アイコンをクリックすると [詳細表示]・[削除] メニューが選択できます。

画面	アイコン	説明
		配送が失敗したことを表します。配送先のユーザに配送は届いていません。 アイコンをクリックすると [詳細表示]・[削除] メニューが選択できます。
		配送済みであることを表します。アイコンをクリックすると [詳細表示]・[削除] メニューが選択できます。
		承認者が配送を却下したことを表します。 受信ユーザには配送されていません。アイコンをクリックすると [詳細表示]・[削除] メニューが選択できます。
		承認者による承認（許可/却下）がまだ行われていないことを表します。受信ユーザには配送されていません。アイコンをクリックすると [詳細表示]・[削除] メニューが選択できます。
		JP1/Data Highway - AJE で送信した配送を、システム管理者が一時停止したことを表します。受信ユーザには配送されていません。 アイコンをクリックすると [詳細表示]・[削除] メニューが選択できます。
[受信ボックス] 画面		未開封であることを表します。 アイコンをクリックすると [詳細表示] メニューが選択できます。
		開封済みであることを表します。 ファイルのダウンロードを行っていない場合、または一部のファイルをダウンロード済みの場合に表示されます。アイコンをクリックすると [詳細表示] メニューが選択できます。
		ダウンロード済みであることを表します。 受信ユーザが配送を開封し、配送内のすべてのファイルのダウンロードが完了している場合に表示されます。アイコンをクリックすると [詳細表示] メニューが選択できます。
[招待者設定] 画面		有効な招待者を表します。
		無効な招待者を表します。
		アカウントロックされた招待者を表します。
[承認申請一覧] 画面※		承認を申請したユーザを表します。

注※

承認者に設定されているユーザの場合に表示される画面です。

2.3 ファイル／メッセージを送信する

ファイルやメッセージを送信する手順について説明します。

1. JP1/DH - Server にログインして、画面左のメニューから【新規送信】を選択します。

【新規送信】画面が表示され、「差出人」欄にユーザの名前が表示されます。



補足説明

デフォルトでは【アドレス一覧】画面が表示されています。

送信アドレス履歴、受信アドレス履歴から配送先に設定するユーザを選択する場合は、【送信アドレス履歴】ボタンまたは【受信アドレス履歴】ボタンをクリックして、それぞれの画面でユーザを選択してください。ただし、グループ単位で指定した宛先は履歴には表示されません。なお、履歴に表示されている場合でも、送信できる宛先の設定が変更されているときは、選択できないことがあります。また、アカウント期限の過ぎたユーザを選択した場合は送信エラーとなります。

2. 必要に応じて差出人、および差出人の所属を入力します。「件名」を入力します。

所属には 1,024 文字、件名には 100 文字が入力できます。

ここで指定した内容が、ファイル配送時の連絡メールに表示されます。

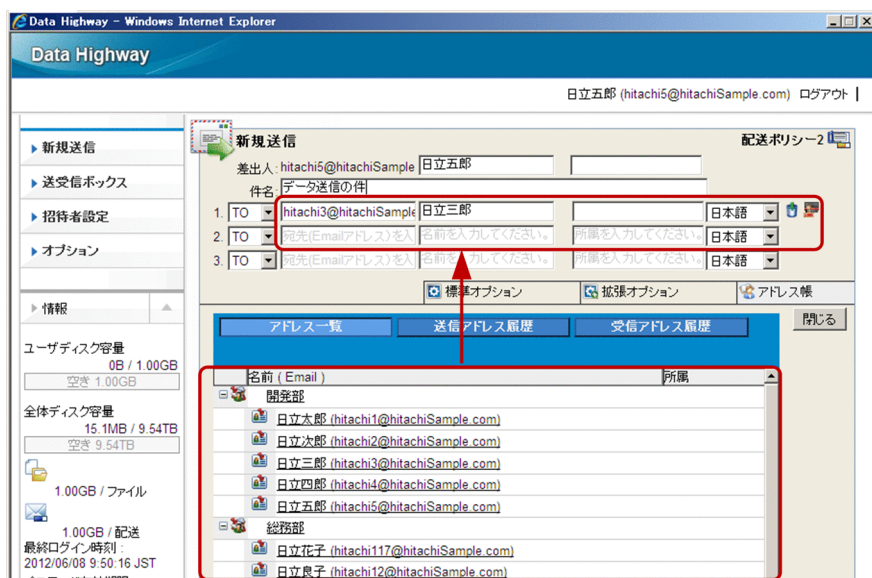
「差出人」欄を空欄とした場合は、JP1/DH - Server のシステムに登録された名前が差出人の名前として送信されます。

3. アドレス一覧からユーザまたはグループを選択して、宛先を指定します。

【送信先】テキストボックスに、選択したユーザの Email アドレス、および名前が設定されます。必要に応じて所属を入力します。

「名前」欄を空欄とした場合は、JP1/DH - Server のシステムに登録された名前が送信先の名前として送信されます。

なお、ユーザの権限によっては、テキストボックスに Email アドレスを直接入力できます。この場合で宛先がシステムに未登録のユーザのときは、[標準オプション] タブで開封パスワードの設定が必要です。



参考

- 宛先にグループを選択した場合は、[宛先確認] ボタンをクリックすると、グループ内のユーザが確認できます。
- 一度に送信できる宛先数の上限は、システム管理者の設定により異なります。なお、承認ルートを利用する場合、[宛先] で指定したユーザ数と承認ルート内の承認者の合計数が、一度に送信できる宛先数となります。



補足説明

- 指定した宛先を削除する場合は、 をクリックします。
- 配送メールの言語を変更する場合は、言語のドロップダウンリストボックスから、言語を選択します。
- 名前、および所属の入力欄は、メール言語の日本語/中国語を選択した場合と、英語を選択した場合で別に扱われます。日本語/中国語を選択したときに変更した内容は、英語を選択したときには反映されません。
- アドレス一覧から宛先を選択した場合はユーザの登録内容、履歴から宛先を選択した場合は送受信時の入力内容、直接入力した場合は空白を初期状態として名前、および所属の入力欄に表示します。

4. 「TO」、「CC」、「BCC」を選択します。

[閉じる] ボタンをクリックすると、[アドレス帳] タブを閉じます。

5. システムに未登録のユーザを宛先に指定した場合は、[標準オプション] タブで開封パスワードを設定します。

システムに未登録の宛先と登録済みの宛先が混在している場合でも、開封パスワードの設定が必要です。開封パスワードは6～32文字の半角英数字と記号で、2種類以上の文字種（数字、英小文字、英大文字、記号）を使用して設定してください。記号には次の文字を使用できます。

!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?[¥]^_`{|}~

なお、システムに未登録のユーザを宛先に指定していない場合は、開封パスワードの設定項目は表示されません。



注意

- 設定した開封パスワードは、システムに未登録の宛先のユーザがメールを開封する場合に必要となります。JP1/DH - Server とは別の連絡手段で開封パスワードを通知しておいてください。設定した開封パスワードは、後から確認や変更ができません。

なお、未登録の宛先のユーザと同時に登録済みのユーザ宛てに送信した場合は、未登録の宛先のユーザにだけ連絡が必要です。システムに登録済みのユーザの場合は、開封パスワードの連絡は必要ありません。

- システムに未登録の宛先の配送ポリシーが定義されていない場合は、権限を持つユーザでも、システムに未登録の宛先へ送信できません。この場合は、代表ユーザ、またはグループ管理者にお問い合わせください。

6. 必要に応じて【標準オプション】タブ、または【拡張オプション】タブの項目を設定します。設定項目を次の表に示します。

タブ名	項目名	説明
【標準オプション】タブ	保管設定	• [[] 年 [] 月 [] 日まで保管する] 送信したファイルの保管期限の年月日を設定できます。 • [ダウンロードを一回限りに制限する] チェックボックス チェックすると、受信者、および承認ルートが設定されている場合の承認者は、ファイルのダウンロードが一回しかできなくなります。
	通知設定※	• [配送時に配送先・配送元ユーザに通知する] チェックボックス チェックすると、ファイルのアップロードまたはメッセージの送信が行われた場合に、配送先ユーザと配送元ユーザに通知メールが送信されます。 • [開封された場合に配送元ユーザに通知する] チェックボックス チェックすると、配送データが開封された場合に、配送元ユーザに対して通知メールが送信されます。 • [期限前日までに開封されなかった場合に配送元ユーザに通知する] チェックボックス チェックすると、配送データが期限前日までに開封されなかった場合に配送元ユーザに対して通知メールが送信されます。 • [期限までに開封されなかった場合に配送元ユーザに通知する] チェックボックス チェックすると、配送データが期限までに開封されなかった場合に配送元ユーザに対して通知メールが送信されます。 • [[] 年 [] 月 [] 日までにダウンロードされなかった場合に配送先ユーザに通知する] チェックボックス チェックすると、配送データに含まれるファイルが指定日までにダウンロードされなかった場合に、配送先ユーザに対して通知メールが送信されます。 なお、配送データに複数のファイルが含まれている場合は、1 つでもダウンロードされていないファイルがあると通知の対象となります。日付には、デフォルトで保管期限の前日が表示されます。 通知メールは指定された日付の翌日に送信されます。ただし、保管期限が切れている場合は送信されません。 • [[] 年 [] 月 [] 日までに承認または却下されなかった場合に承認者に通知する] チェックボックス チェックすると、配送データが指定日までに承認または却下されなかった場合に、承認者に対して通知メールが送信されます。日付には、デフォルトで保管期限の前日が表示されます。 通知メールは指定された日付の翌日に送信されます。ただし、保管期限が切れている場合は送信されません。

タブ名	項目名	説明
[拡張オプション] タブ	通知設定	[添付ファイル情報などの詳細情報を通知メールに表示しない] チェックボックスを選択すると、配送メール、および承認依頼メール内に差出人情報、保管期限情報、ファイル一覧情報などが記載されなくなります。

注※

システム管理者の設定により、表示される項目は異なります。

7. [ファイル選択] ボタンをクリックするか、ファイル、またはフォルダをドラッグ&ドロップして、送信するファイルを設定します。

[ファイル選択] ボタンの場合は、ファイル選択ダイアログが表示されます。[開く] ボタンで送信するファイルを選択します。

ドライブをドラッグ&ドロップした場合は、配送ファイル/フォルダ欄の名前は「Drive」となります。ローカルフォルダ以外のファイル/フォルダや、アクセス速度が遅いドライブ（SD カードなど）に存在するファイル/フォルダを送信対象に指定する場合は、送信するファイル/フォルダを指定する前に [ローカルにコピーしてから送信する] チェックボックスを選択すると、選択したファイル/フォルダを送信画面に表示する時間、および送信時間を短縮できる可能性があります。

送信対象にローカル環境のファイル/フォルダが混在している場合でも、このチェックボックスを選択できます。ただし、混在している場合に、ローカルフォルダ以外のファイル/フォルダ、またはアクセス速度が遅いドライブ上のファイル/フォルダに対してだけ [ローカルにコピーしてから送信する] を選択することはできません。

なお、ファイル選択ダイアログでは複数のファイルを一度に選択することはできません。

選択したファイルを取り消す場合は、ファイルを選択して Delete キーを押すか、マウスを右クリックして [削除] メニューを選択してください。

The screenshot shows the 'Data Highway' web application in Internet Explorer. The 'New Transmission' (新規送信) page is active. A red box highlights the 'File Selection' (ファイル選択) button. The page includes a sidebar with navigation links like 'New Transmission', 'Send Mailbox', 'Invite Settings', and 'Options'. The main area contains a form for setting up a new transmission, including fields for 'Sender' (差出人), 'Subject' (件名), and a list of recipients (TO). Below the recipient list, there are tabs for 'Standard Options' (標準オプション), 'Extended Options' (拡張オプション), and 'Address Book' (アドレス帳). The 'Extended Options' tab is selected, showing a table for selecting files/folders to be transmitted. The table has columns for 'No.', 'Delivery File/Folder' (配送ファイル/フォルダ), and 'Size'. To the right of the table, there are checkboxes for 'Compression' (圧縮なし), 'Copy to local and then transmit' (ローカルにコピーしてから送信する), and 'Transmit in high-speed communication mode' (高速通信モードで送信する). The 'Copy to local and then transmit' checkbox is checked. At the bottom, there is a 'Start Transmission' (送信開始) button.



注意

- 送信対象がフォルダの場合で、フォルダ内のファイルサイズの合計が 3.96GB (4,252,017,623 バイト) を超えるときは、圧縮方式が [拡張] の配送ポリシーを使用してください。圧縮方式が [標準] の配送ポリシーの場合は、3.96GB を超えるフォルダを送信できません。配送ポリシーについては、システム管理者にお問い合わせください。
 - 送信対象がフォルダの場合、フォルダ内のファイルとフォルダの合計数は、圧縮方式が [標準] の配送ポリシーの場合は 65,534 個以下、圧縮方式が [拡張] の配送ポリシーの場合は 262,144 個以下としてください。配送ポリシーについては、システム管理者にお問い合わせください。
 - 送信できるファイルのサイズは、配送ルールや送信元ユーザの空き保管容量により制限されます。
 - [ローカルにコピーしてから送信する] チェックボックスを選択して、ローカルフォルダ以外のファイル/フォルダを指定した場合は、対象のファイル/フォルダをローカル環境にコピーします。コピー中は「ファイルをコピーしています。」とメッセージが表示され、ほかの操作はできません。
 - [ローカルにコピーしてから送信する] チェックボックスは、送信対象にファイル/フォルダを選択済みの場合は操作できません。チェックボックスの指定を変更する場合は、送信対象のファイル/フォルダをすべて削除してください。
 - ファイル、またはフォルダを選択したあとは、送信が完了するまでファイル、またはフォルダを参照したり、データや名前を変更したりしないでください。参照、または変更する場合は、いったん選択済みリストから削除してから行い、もう一度選択し直してください。
- なお、選択後に変更した結果データサイズが増減した場合は、送信できません。また、データサイズにかかわらずデータが変更されている場合は、受信時に検証エラーとなります。
- ファイルへのアクセス方法によっては、ファイルを参照するだけでデータが変更される場合があります。このような場合も、データを変更したときと同様に送受信時にエラーとなります。

8. [圧縮強度] ドロップダウンリストボックスで圧縮方式を選択します。

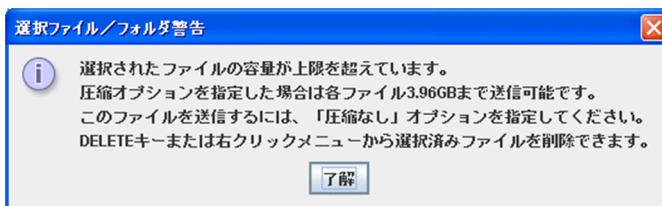
代表ユーザが設定した配送ポリシー定義によっては、圧縮方式を選択できない場合があります。

送信量に応じて [高速通信モードで送信する] チェックボックスを選択します。なお、プロキシサーバやファイアウォールの設定により、ファイルの送信に失敗する場合は、この項目のチェックを外すことで解決できることがあります。



注意

圧縮して送信できるファイルのサイズは、使用する配送ポリシーにより異なります。配送ポリシーについては、システム管理者にお問い合わせください。なお、次に示すダイアログが表示される場合は、圧縮なしで送信してください。



9. 必要に応じて、メッセージを入力します。

入力したメッセージは、ファイル配信メールの本文に記載されます。入力できる文字数は 4,096 文字以内です。

送信準備が完了すると、配送ルール名のアイコンが  から、 に変わります。

10. [送信開始] ボタンをクリックすると、ファイルが送信されます。送信中は [中止] ボタン以外の画面操作はできません。

Data Highway - Windows Internet Explorer

Data Highway

日立五郎 (hitachi5@hitachiSample.com) ログアウト |

新規送信

差出人: hitachi5@hitachiSample 日立五郎

件名: データ送信の件

1. TO hitachi3@hitachiSample 日立三郎 日本語

2. TO hitachi12@hitachiSamp 日立良子 日本語

3. TO ple@hitachisample.com 日本語

4. TO 宛先(Eメールアドレス)を入力してください。 名前を入力してください。 日本語

標準オプション 拡張オプション アドレス帳

現在 2.44MB (最大 1.00GB / 5 ファイル)

ファイル選択

No.	配送ファイル / フォルダ	サイズ
1	dummy_data_2560000_bytes.bin	2.44MB

圧縮なし

☒ ローカルにコピーしてから送信する

☒ 高速通信モードで送信する

送信開始

ここにメッセージを入力してください。



注意

メールアドレスの入力エリアにカーソルがある場合は、[送信開始] ボタンはクリックできません。

11. 送信が完了すると、[送信結果] 画面が表示されます。

送信時間には、配送に掛かった時間が表示されます。

2.4 メール記載 URL からファイルを受信する

メール記載 URL からファイルを受信する手順について説明します。

2.4.1 システムに登録済みのユーザがファイルを受信する

システムに登録済みのユーザが、配送メールに記載された URL からファイルを受信する手順について説明します。

1. 配送メールに記載されている受け取り URL にアクセスします。

[データ受信認証] 画面が表示されます。

[標準パスワード認証], または [電子証明書認証] でログインします。ログインの詳細については「[2.1 ログインまたはログアウトする](#)」を参照してください。

ログインすると [受信データ開封] 画面が表示されます。

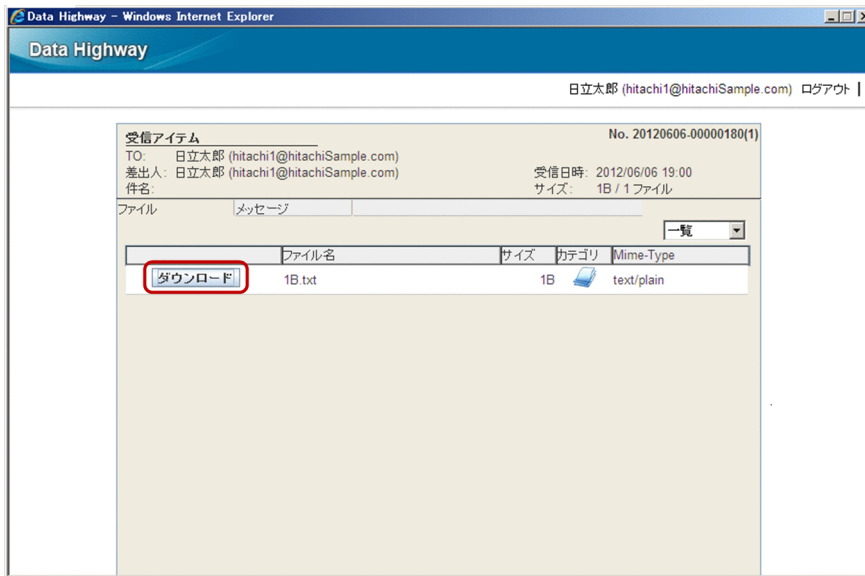
2. [開封] ボタンをクリックします。

[受信アイテム] 画面が表示されます。



3. [ダウンロード] ボタンをクリックします。

[ダウンロード] 画面が表示されます。



4. [保存] ボタンをクリックして、ファイルの保存先を選択します。

保存先にローカルフォルダ以外のフォルダを指定する場合は、[ローカルに受信してからコピーする] チェックボックスを選択します。このチェックボックスを選択すると、選択したファイル/フォルダをダウンロードする時間を短縮できる可能性があります。



注意事項

ダウンロード中にタイムアウトした場合は、ダウンロードに失敗します。保存先にローカルフォルダ以外を指定していた場合は、保存先にローカルフォルダを指定してダウンロードを実行してください。

5. [ダウンロード完了!!] ダイアログが表示されます。

ダウンロード時間には、ダウンロードに掛かった時間が表示されます。

6. [OK] ボタンをクリックします。

ダウンロードが完了します。

2.4.2 システムに未登録のユーザがファイルを受信する

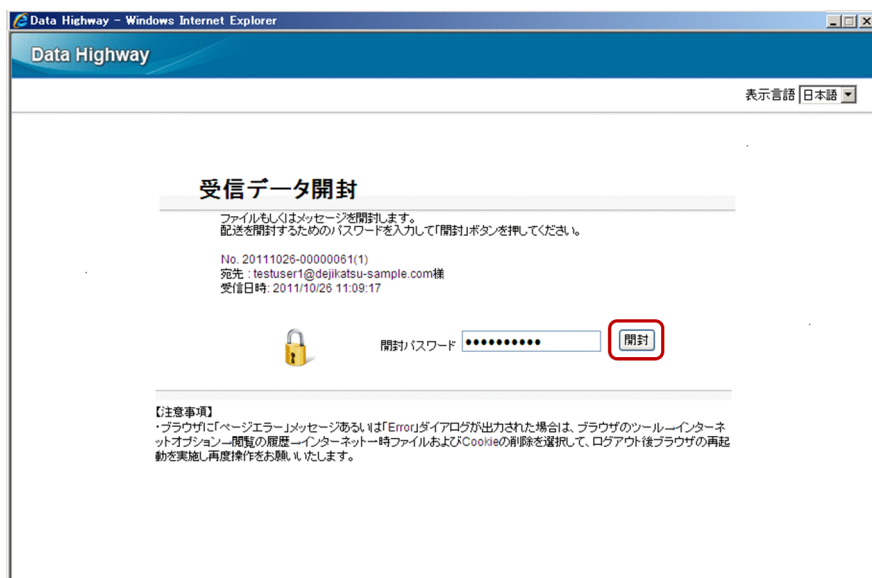
システムに未登録のユーザが、配送メールに記載された URL からファイルを受信する手順について説明します。

1. 配送メールに記載されている受け取り URL にアクセスします。

[受信データ開封] 画面が表示されます。あらかじめ連絡された開封パスワードを入力します。

2. [開封] ボタンをクリックします。

[受信アイテム] 画面が表示されます。

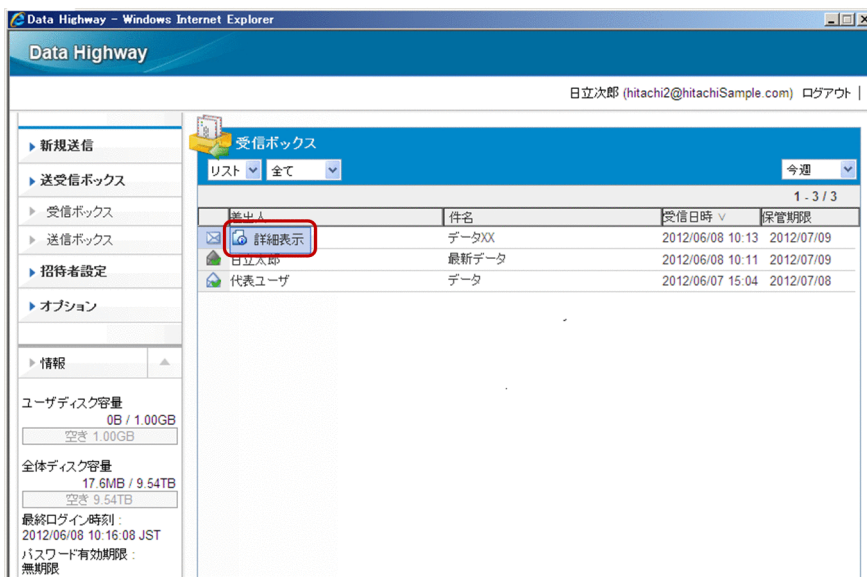


以降の操作については、「2.4.1 システムに登録済みのユーザがファイルを受信する」の手順 3 以降を参照してください。

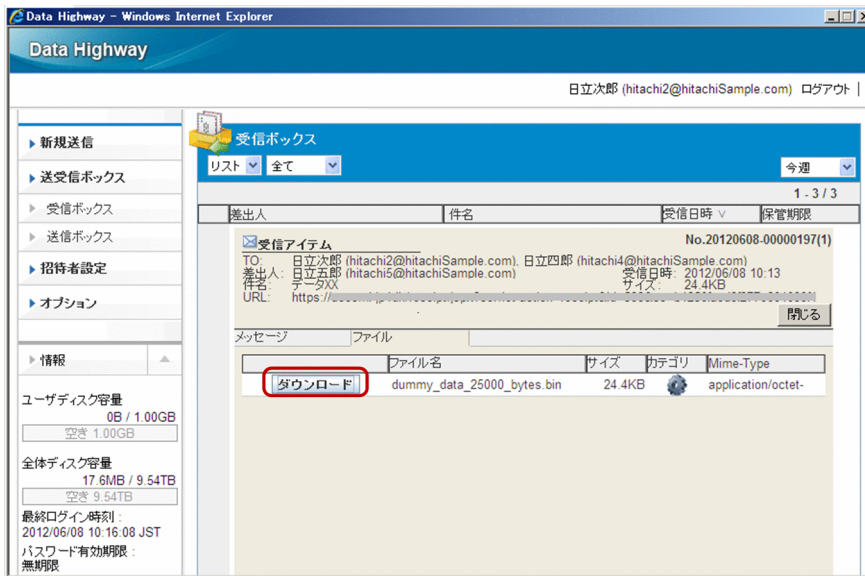
2.5 受信ボックスからファイルを受信する

受信ボックスからファイルを受信する手順について説明します。

1. JP1/DH - Server にログインして、画面左のメニューから [送受信ボックス] - [受信ボックス] を選択します。
[受信ボックス] 画面が表示されます。
2. 受信ボックスに表示するファイルの処理状況の種類を [未開封], [開封済み], [全て] から選択します。
3. 受信する配送データの  をクリックして、[詳細表示] を選択します。
[受信アイテム] 画面に配送データの内容が表示されます。



4. [ファイル] タブをクリックして、受信ファイルの詳細を確認します。[ダウンロード] ボタンをクリックします。
[ダウンロード] 画面が表示されます。



5. [保存] ボタンをクリックして、ファイルの保存先を選択します。

保存先にローカルフォルダ以外のフォルダを指定する場合は、[ローカルに受信してからコピーする] チェックボックスを選択します。このチェックボックスを選択すると、選択したファイル/フォルダをダウンロードする時間を短縮できる可能性があります。



注 意

- [ダウンロード] 画面が表示されている間は、[受信ボックス] 画面の操作はできません。
- ダウンロード中にタイムアウトした場合は、ダウンロードに失敗します。保存先にローカルフォルダ以外を指定していた場合は、保存先にローカルフォルダを指定してダウンロードを実行してください。

6. [ダウンロード完了!!] ダイアログが表示されます。

ダウンロード時間には、ダウンロードに掛かった時間が表示されます。

7. [OK] ボタンをクリックします。

ダウンロードが完了します。

2.6 送受信履歴を確認／削除する

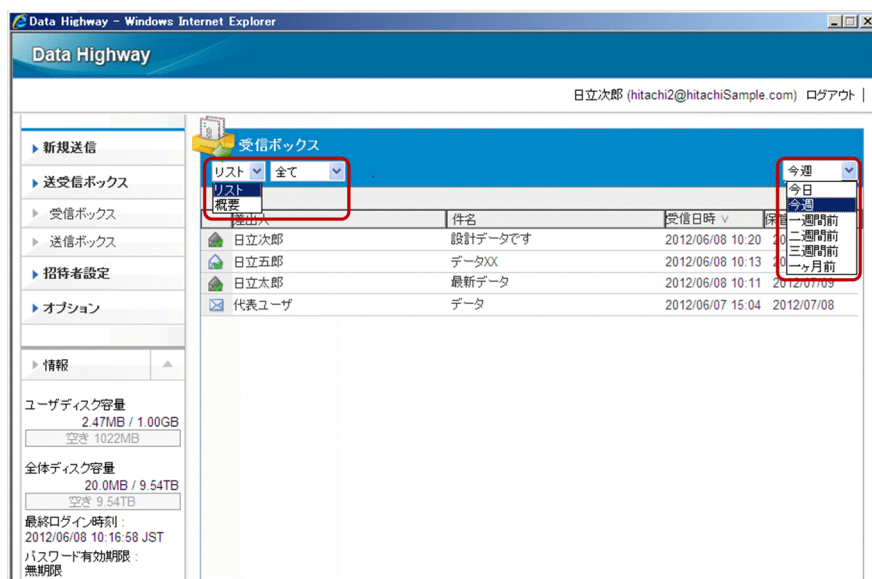
送受信ボックスから自分の送信・受信履歴を確認，または削除する手順について説明します。

1. JP1/DH - Server にログインして，画面左のメニューから [送受信ボックス] - [受信ボックス] / [送信ボックス] を選択します。

[受信ボックス]，または [送信ボックス] 画面が表示されます。

2. 必要に応じて，表示形式，処理状況，表示期間をドロップダウンリストで選択します。

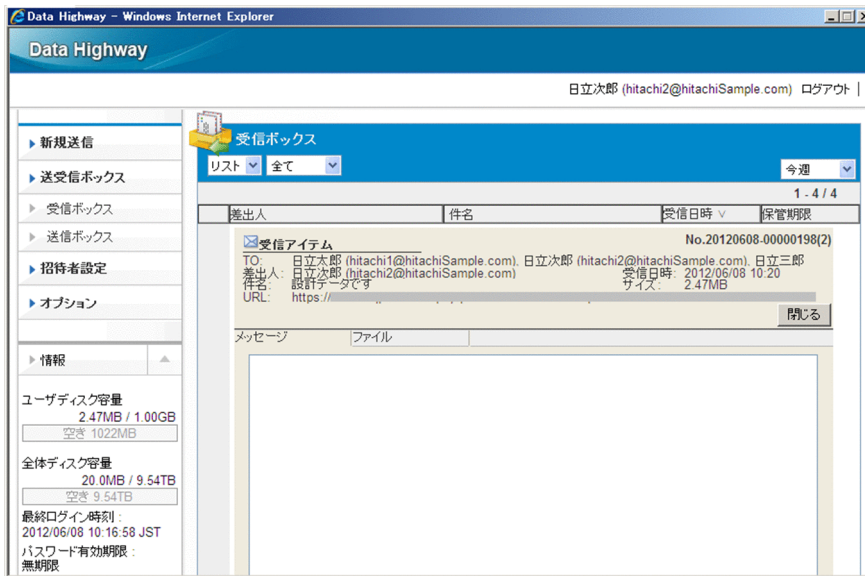
- 表示形式：リスト形式，概要形式を選択できます。
- 処理状況：受信ボックスの場合に表示されます。[全て]，[未開封]，[開封済み] を選択できます。
- 表示期間：次のどれかを選択できます。
 - 今週：前回の日曜日から今日まで
 - 一週間前：前々回の日曜日から今日まで
 - 二週間前：3 回前の日曜日から今日まで
 - 三週間前：4 回前の日曜日から今日まで
 - 一ヶ月前：前の月の 1 日から今日まで



補足説明

「今週」を選択した場合に表示する期間が月をまたぐときは，その月の 1 日からとなります。
また，一ヶ月より前の履歴が存在する場合は，「YYYY 年 MM 月」の形式で項目が表示されます。

3. アイコンをクリックして [詳細表示] を選択します。[履歴詳細情報] 画面が表示されます。



注 意

送信者が削除されている場合、無効になっている場合は、詳細情報を開くことはできません。

4. [履歴詳細情報] 画面の各タブの表示内容を次に示します。なお、[宛先情報] タブ、[受信記録] タブ、[承認者一覧] タブは [送信ボックス] 画面から詳細情報を表示した場合にだけ表示されます。

- [メッセージ] タブ：受発信したメッセージが表示されます。
- [ファイル] タブ：ファイル名やサイズなどのファイルの詳細情報が表示されます。[ダウンロード] ボタンをクリックすると、ファイルのダウンロードができます。
- [宛先情報] タブ：宛先の情報が表示されます。
- [受信記録] タブ：受信者のファイル受信状況が表示されます。
- [承認者一覧] タブ：承認が必要な配送の場合に表示されます。承認者の一覧を確認できます。ただし、すべての承認者が削除されている場合は、[承認者一覧] タブは表示されません。

それぞれのタブで [閉じる] ボタンをクリックすると、[受信ボックス] 画面、または [送信ボックス] 画面に戻ります。



補足説明

- [送信ボックス] 画面で履歴詳細情報を表示した場合は、[削除] ボタンが表示されます。[削除] ボタンをクリックすると、履歴および送信済みのファイルの削除ができます。なお、ファイルを削除すると、その配送の受信者は、ファイルをダウンロードできなくなります。
- 複数のファイルを一度に送信した場合は、[受信記録] タブでどのファイルを受信者がダウンロードしたかを確認できます。ダウンロードされていないファイルの場合は、ファイル名が灰色で表示されます。ただし、受信者が受信履歴から受信した場合は、ダウンロード済みの表示となりません。



2.7 承認申請を管理する

承認申請を操作する手順について説明します。

2.7.1 メール記載 URL から承認申請を許可／却下する

承認申請のお知らせメールに記載された URL から承認申請を許可、または却下する手順について説明します。

1. 承認申請のお知らせメールに記載されている受け取り URL にアクセスします。

[ユーザ認証] 画面が表示されます。

ユーザ ID とパスワード、または電子証明書を利用してログインします。ログインの詳細については「[2.1 ログインまたはログアウトする](#)」を参照してください。

[送信承認] 画面が表示されます。

送信承認

※下記内容で送信承認が申請されています。
承認する場合は、「許可」ボタンを押してください。
却下する場合は、メッセージを記入の上「却下」ボタンを押してください。

No.20120607-00000189

送信者	日立太郎 (hitachi1@hitachiSample.com)	
宛先一覧	日立三郎 (hitachi3@hitachiSample.com) 日立花子 (hitachi117@hitachiSample.com)	
ファイル一覧	1B.txt 1B ダウンロード	
件名	データ送信	
メッセージ		
承認者一覧	日立太郎 (hitachi1@hitachiSample.com)	承認中

2. 承認申請の内容を確認します。承認の許可、または却下をします。

却下する場合は、4,096 文字以内で必ず却下理由を入力する必要があります。許可する場合は、理由の入力は任意です。

3. [許可]、または [却下] ボタンをクリックします。

確認ダイアログが表示されます。

[OK] ボタンをクリックすると、許可または却下を実行します。



注意

JP1/DH - Server を引き続き利用する場合は、一度ブラウザを終了して、再度ログインしてください。

2.7.2 承認申請を許可／却下する

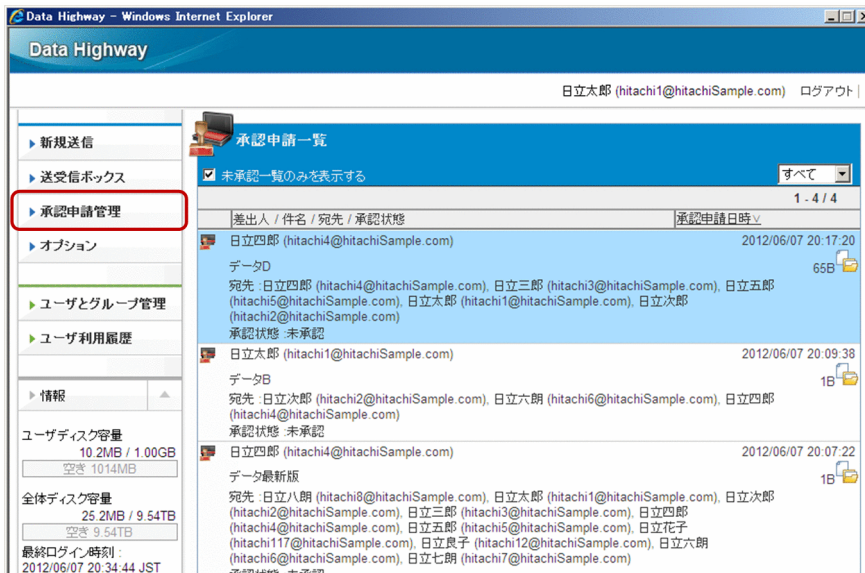
[承認申請一覧] 画面から承認申請を許可または却下する手順について説明します。

1. ユーザ ID とパスワード、または電子証明書を利用してログインします。

ログインの詳細については「[2.1 ログインまたはログアウトする](#)」を参照してください。

2. 画面左のメニューから [承認申請管理] をクリックします。

[承認申請一覧] 画面が表示されます。



3. 処理を行う申請をクリックします。

[承認申請詳細] 画面が表示されます。



参考

[未承認一覧のみを表示する] チェックボックスを選択すると、未承認の申請だけが表示されます。
表示期間ドロップダウンリストで、表示する申請を絞り込むこともできます。

4. 内容を確認します。

- ・ [承認状態] タブ：承認者氏名と承認状態が表示されます。
- ・ [ファイル] タブ：ファイルが表示されます。必要に応じてダウンロードします。

- [メッセージ] タブ：申請者からのメッセージが表示されます。

5. [許可], または [却下] ボタンをクリックします。

却下する場合は、4,096 文字以内で必ず却下理由を入力する必要があります。許可する場合は、理由の入力は任意です。

確認ダイアログが表示されます。

[OK] ボタンをクリックすると、許可または却下を実行します。

Data Highway - Windows Internet Explorer

Data Highway

日立太郎 (hitachi1@hitachiSample.com) ログアウト

新規送信

送受信ボックス

承認申請管理

オプション

ユーザとグループ管理

ユーザ利用履歴

情報

ユーザディスク容量
10.2MB / 1.00GB
空き 1014MB

全体ディスク容量
25.2MB / 9.54TB
空き 9.54TB

最終ログイン時刻
2012/06/07 20:34:44 JST

承認申請詳細

未承認一覧のみを表示する

<< 一覧に戻る

更新

承認申請 No. 20120607-00000194

件名: データD 申請日時: 2012/06/07 20:17:20

差出人: 日立四郎 (hitachi4@hitachiSample.com)

TO: 日立太郎 (hitachi1@hitachiSample.com), 日立次郎 (hitachi2@hitachiSample.com), 日立三郎 (hitachi3@hitachiSample.com), 日立四郎 (hitachi4@hitachiSample.com), 日立五郎 (hitachi5@hitachiSample.com)

状態: 未承認

条件: 承認にファイルのダウンロードは不要です

承認状態

承認者氏名

日立太郎 (hitachi1@hitachiSample.com)

承認状態

未

許可もしくは却下の理由を記入します。

許可 却下

<< 一覧に戻る

更新



参 考

[OK] ボタンをクリックしても反応がない場合、ほかの承認者によって承認申請が許可/却下された可能性があります。

[更新] ボタンをクリックすると最新の承認状態が表示されます。

2.8 招待者を設定する

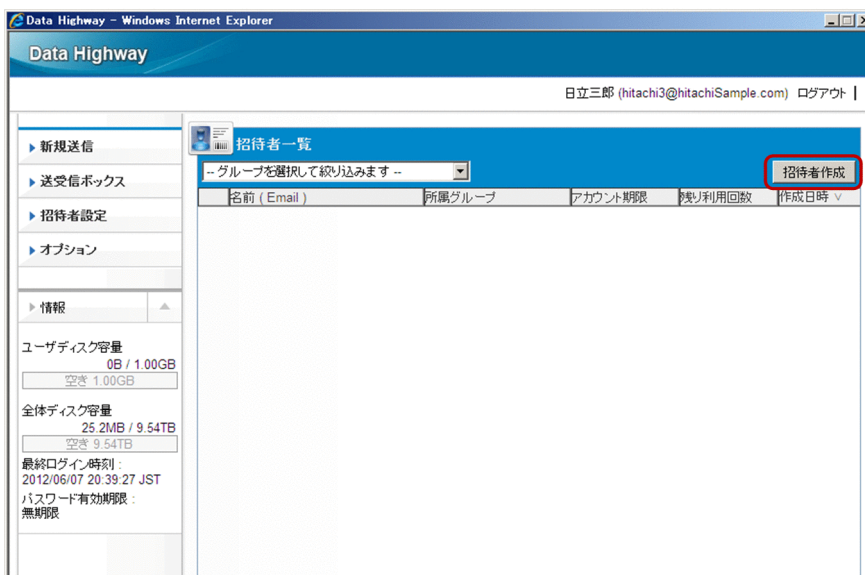
招待者設定の操作を行うためには、招待者機能の利用が許可されている必要があります。許可されている場合でも、招待者グループが作成されていないときは招待者の作成はできません。

権限については、代表ユーザ、またはグループ管理者にお問い合わせください。

2.8.1 招待者を作成/編集する

招待者を作成する、または作成済みの招待者を編集する手順について説明します。

1. JP1/DH - Server にログインし、画面左のメニューから [招待者設定] をクリックします。
[招待者一覧] 画面が表示され、招待者が表示されます。
2. 招待者を作成する場合は、[招待者作成] ボタンをクリックします。
[新規招待者] 画面が表示されます。



手順 4 へ進みます。



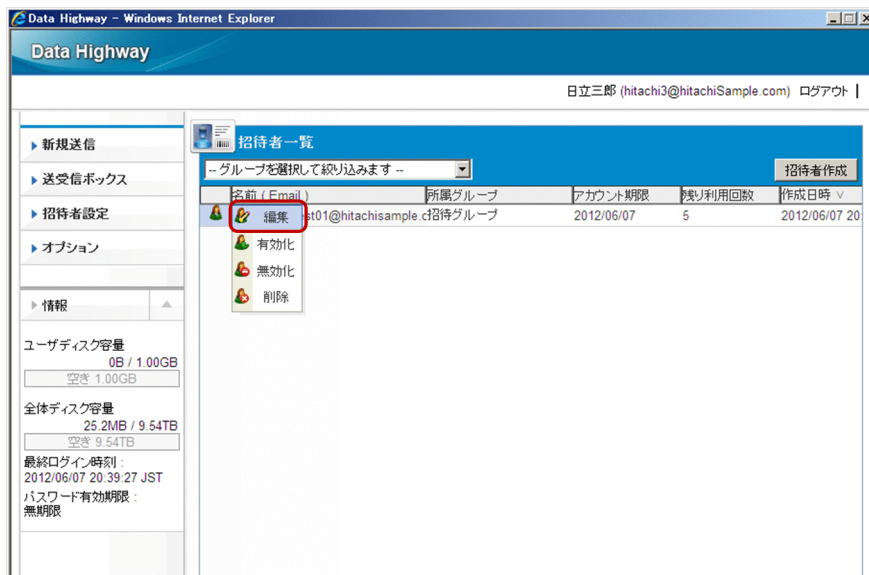
参 考

[グループ選択] ドロップダウンリストでグループを選択して、該当するグループの招待者だけを表示することもできます。

3. 作成済みの招待者を編集する場合は、 をクリックして、[編集] を選択します。

[招待者編集] 画面が表示されます。

招待者編集画面で更新できる項目は、招待者作成の場合と同じです。手順 4 を参照してください。

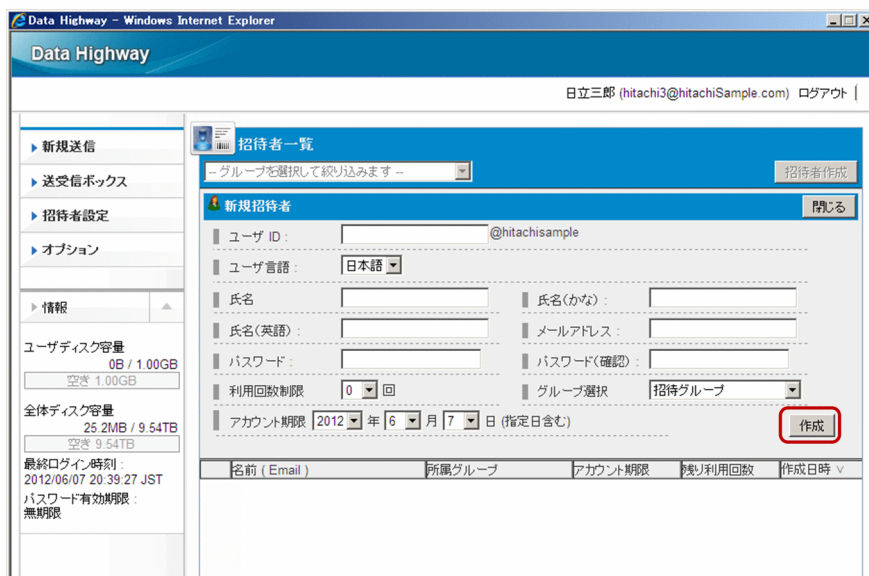


4. 招待者のユーザ ID、使用言語などを設定、または編集し、[作成] / [更新] ボタンをクリックします。招待者が作成されます。または、招待者の設定が更新されます。



注意

招待者を作成した場合、招待者へユーザ ID とパスワードを連絡したあと、パスワードの変更を依頼してください。



招待者に設定する項目を次の表に示します。

表 2-4 招待者に設定する項目

項目	説明
[ユーザ ID] テキストボックス※1	招待者のユーザ ID を入力します。 ここで入力した値に、ドメインに割り当てられる ID (テキストボックスの右側に「@～」の形式で表示されている文字列) を付与したものがユーザ ID になります。

項目	説明
	入力できる文字数は、ドメインに割り当てられる ID も含めて 256 文字以内です。ユーザ ID はドメインごとに一意である必要があります。
[ユーザ言語] ドロップダウンリストボックス	招待者の言語を選択します。日本語、英語、中国語のどれかを選択できます。
[氏名] テキストボックス※2	招待者の氏名を入力します。
[氏名(かな)] テキストボックス※2	招待者の氏名をかな表記で入力します。
[氏名(英語)] テキストボックス	作成する招待者の氏名を英語表記で入力します。 256 文字以内の半角英数字と記号(/¥?*:"'<>@^)は使用できません。 また、空白だけ、ピリオド(.)だけは使用できません。
[メールアドレス] テキストボックス	招待者のメールアドレスを入力します。ここで入力したメールアドレスに、配送や承認などの通知メールが配信されます。 256 文字以内の半角英数字と記号(/¥?*:"'<>@^)、空白は使用できません。
[パスワード] テキストボックス	招待者のパスワードを入力します。 入力できる文字列は、認証ルールに従います。
[パスワード(確認)] テキストボックス	
[利用回数制限] ドロップダウンリストボックス	0～10 までの範囲で、ファイル／メッセージを送信できる回数を選択します。 利用回数制限に指定した回数だけファイルの送信を実行すると、それ以上送信できません。この場合でも、JP1/DH - Server にログインしてファイルを受信することは可能です。
[グループ選択] ドロップダウンリストボックス	グループ種別が「招待者グループ」のグループが表示されます。招待者が所属するグループを選択します。
[アカウント期限] ドロップダウンリストボックス	招待者に設定したアカウントの利用期限を指定します。 ここで指定した期限を過ぎると、この招待者は JP1/DH - Server にログインできなくなります。アカウント期限を変更すると、招待者はログインできるようになります。

注※1

- 入力できるのは 256 文字以内の半角英数字と記号です。
- 記号(/¥?*:"'<>@^[]), 空白は使用できません。
- ピリオド(.)だけの名前は使用できません。
- 次の ID は使用できません。
CON, PRN, AUX, CLOCK\$, NUL, COM0, COM1, COM2, COM3, COM4, COM5, COM6, COM7, COM8, COM9, LPT0, LPT1, LPT2, LPT3, LPT4, LPT5, LPT6, LPT7, LPT8, LPT9

注※2

- 入力できる文字数は 256 文字以内です。
- 入力する文字に記号(/¥?*:"'<>@^)は使用できません。
- 空白だけ、ピリオド(.)だけの名前は使用できません。

2. JP1/DH - Server の操作

2.8.2 招待者を有効化／無効化／削除する

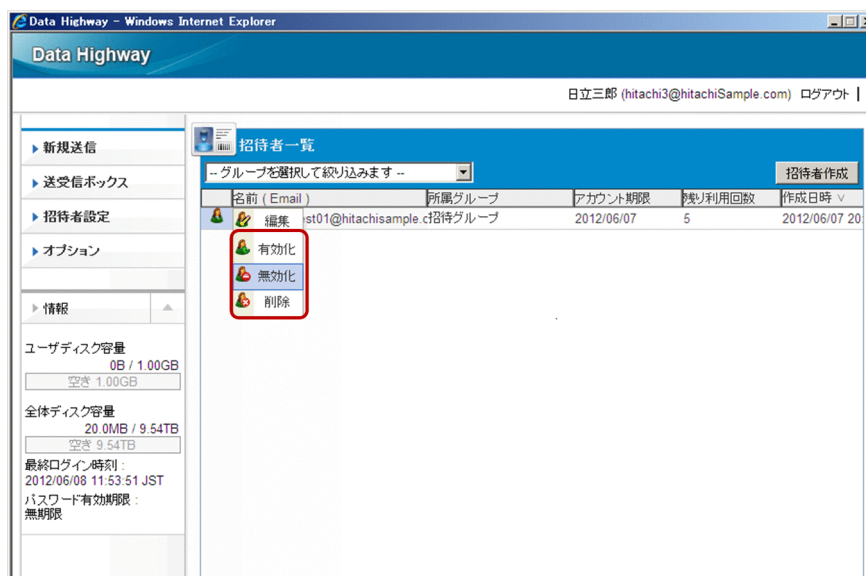
招待者を有効化，無効化，または削除する手順について説明します。

1. JP1/DH - Server にログインし，画面左のメニューから【招待者設定】をクリックします。

【招待者一覧】画面が表示され，招待者が表示されます。

2. 招待者の  をクリックして，有効／無効／削除を選びます。

- 有効：無効化されている招待者を，有効化します。招待者がアカウントロックされている場合はロックが解除されます。
- 無効：招待者を無効化します。無効化した招待者は，JP1/DH - Server を利用できなくなります。有効化すると，再び利用可能になります。
- 削除：招待者を削除します。一度削除した招待者を元に戻すことはできません。



2.9 オプションを設定する

オプションの操作について説明します。なお、オプションの利用が許可されていない場合、この機能は利用できません。

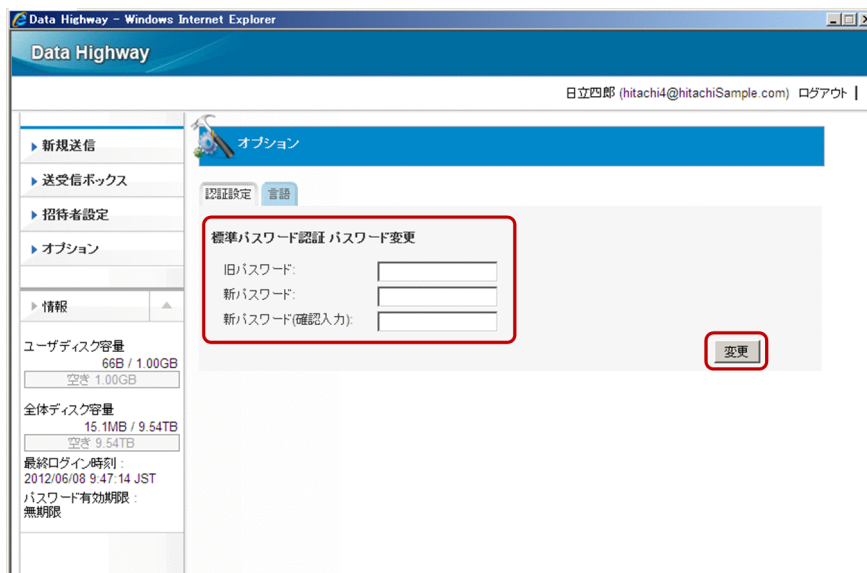
2.9.1 パスワードを変更する

パスワードを変更する手順について説明します。なお、電子証明書を利用してログインした場合は、パスワードの変更はできません。

1. JP1/DH - Server にログインし、画面左のメニューから【オプション】－【認証設定】タブをクリックします。

【標準パスワード認証 パスワード変更】画面が表示されます。

2. 旧パスワードに現在のパスワード、新パスワード/新パスワード(確認入力)に新しいパスワードを入力します。



参 考

パスワードとして入力できる文字は、認証ルールで設定された文字数以内の半角英数字と記号です。

次の記号を使用できます。

!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~

3. 【変更】 ボタンをクリックします。

パスワードの変更が完了します。

2.9.2 メール言語を変更する

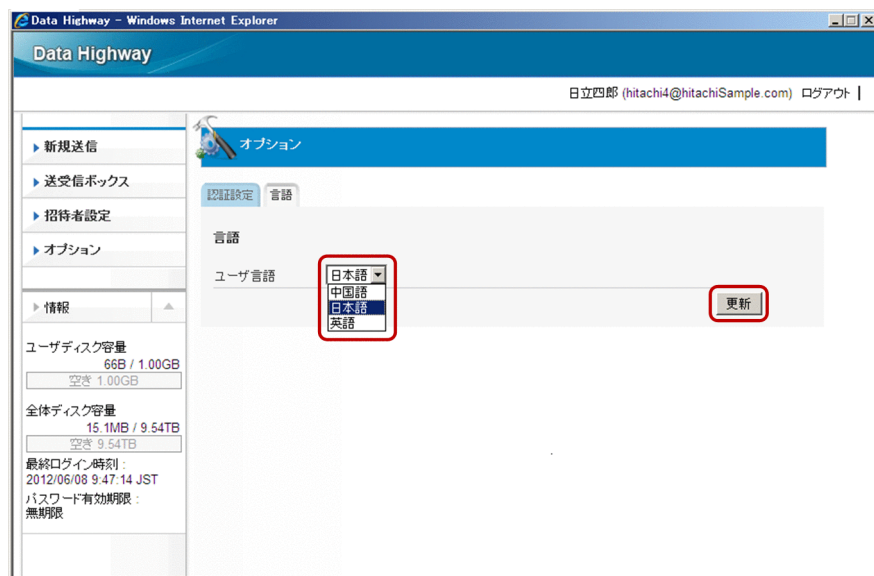
ユーザに配信されるメールの言語を変更する手順について説明します。ただし、配送通知メールの言語は送信者が選択します。

1. JP1/DH - Server にログインし、画面左のメニューから【オプション】－【言語】タブをクリックします。

【言語】画面が表示されます。

2. 【ユーザ言語】ドロップダウンリストボックスで、メール言語を選択します。

日本語、英語、中国語が選択できます。



3. 【更新】 ボタンをクリックします。

メール言語の変更が完了します。

3

トラブルシュート

この章では、JP1/DH - Server を利用するにあたっての、トラブル解決の手段について説明しています。

3.1 トラブルシュート

発生する現象と対応について、次の表に示します。

表 3-1 トラブルシュート一覧

No	現象	想定される原因	対応方法
1	ログインできない	ユーザIDとパスワードが間違っている可能性があります。	正しいユーザIDとパスワードを入力してください。 パスワードを忘れてしまった場合、管理者にお問い合わせください。
2		ユーザ情報が削除されている可能性があります。	管理者にお問い合わせください。
3		ユーザのアカウント有効期限が切れている可能性があります。	
4		ユーザが無効化されている可能性があります。	
5		認証ルールによって、認証が許可されていない可能性があります。	
6		サーバで障害が発生している可能性があります。	
7	ファイルは配送されたが、ファイル配送のお知らせメールが受信者に届かない	送信者あるいは受信者のメールアドレスが誤っている可能性があります。	送信者あるいは受信者の設定したメールアドレスを確認してください。
8	「指定されたオブジェクトが見つかりません」という警告メッセージが出て、処理が中断する	クライアントの Java の環境に問題がある可能性があります。	下記の方法で、設定が正しいかを確認してください。 - Java の実行環境が、前提環境と合っているかの確認 [スタートメニュー] - [コントロールパネル] - [Java] - [一般] タブ - [バージョン情報] でバージョンを確認します。使用できるバージョンについては、「1.1.2(2) Java ソフトウェア」を参照してください。 - Java アプレットのプロキシの設定を確認 [スタートメニュー] - [コントロールパネル] - [Java] - [一般] タブ - [ネットワーク設定] で、表示される [ネットワーク設定] ダイアログの [ブラウザの設定を使用] を選択します。 - 次世代の Java Plug-in を有効化
9	「オブジェクトでサポートされていないプロパティまたはメソッドです」という警告メッセージが出て、処理が中断する		
10	[受信アイテム] 画面で [ダウンロード] ボタンが表示されない		

No	現象	想定される原因	対応方法
			[スタートメニュー] - [コントロールパネル] - [Java] - [詳細] タブ - [Java Plug-in] - [次世代の Java Plug-in を有効にする (ブラウザの再起動が必要)] のチェックをして、[OK] をクリックします。その後、ブラウザを再起動します。

3.2 クライアント環境を確認する

ご利用の環境を確認する手順について説明します。

1. JP1/DH - Server の URL にアクセスして [ユーザ認証] 画面から [クライアント環境の確認] リンクをクリックします。



2. 表示される [クライアント環境確認] 画面で設定した環境が正しいかどうかを確認します。
[NG] と表示された場合は、設定内容を見直ししてください。



3. トラブルシュート

3.3 インターネットオプションの設定の確認

JP1/DH - Server は、インターネットオプションの標準の設定で正常に動作します。JP1/DH - Server で使用するインターネットオプションの設定を確認する手順について説明します。

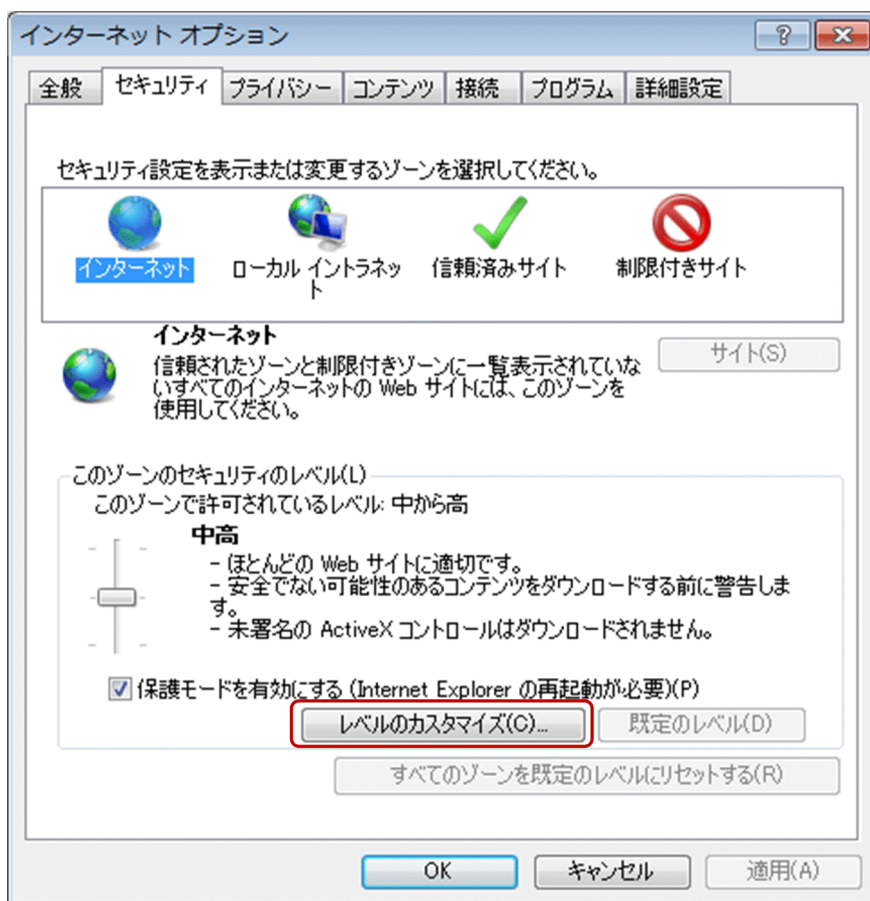
なお、以降の設定にした場合でも、セキュリティのレベルは Internet Explorer 標準の設定より下がることはありません。

3.3.1 [セキュリティ] タブ

[セキュリティ] タブの設定について説明します。

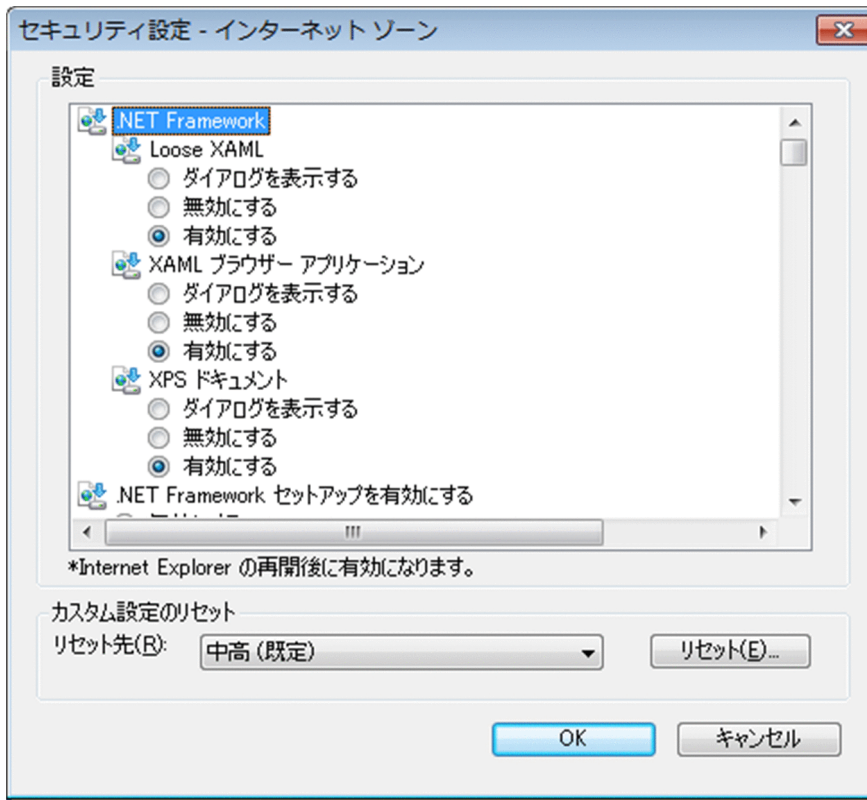
JP1/DH - Server のサイトは、通常 [インターネット] ゾーンに属しています。[インターネット] ゾーンのセキュリティの設定を変更します。

[インターネット] ゾーンのセキュリティの設定を既定のレベルに戻しても構わない場合は、[インターネット] ゾーンを選択し、[既定のレベル] ボタンをクリックして、セキュリティの設定を既定のレベルに戻してください。



[インターネット] ゾーンのセキュリティの設定を標準から変更している場合で、この設定を変えたくないときは、次のどちらかの方法を適用してください。

- ・ [信頼済みサイト] ゾーンのセキュリティ設定が変更されていない場合は、JP1/DH - Server のサイトを [信頼済みサイト] ゾーンに登録します。
- ・ [インターネット] ゾーンのセキュリティの設定を個別に見直しします。



セキュリティの設定を個別に見直す場合、[セキュリティの設定] ダイアログで、次の項目の設定内容を確認してください。

(1) ActiveX コントロールとプラグイン

- ・ [ActiveX コントロールとプラグインの実行]
[有効にする] または [ダイアログを表示する] を選択してください。標準では [有効にする] が設定されています。
- ・ [スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行]
[有効にする], または [ダイアログを表示する] を選択してください。標準では [有効にする] が設定されています。
- ・ [バイナリ ビヘイビアとスクリプト ビヘイビア]
[有効にする] を選択してください。標準では [有効にする] が設定されています。
- ・ [署名された (署名済み) ActiveX コントロールのダウンロード]
[ダイアログを表示する] を選択してください。標準では [ダイアログを表示する] が設定されています。

(2) スクリプト

- [アクティブ スクリプト]

[有効にする] を選択してください。標準では [有効にする] が設定されています。

(3) その他

- [拡張子ではなく、内容によってファイルを開く (こと)]

[有効にする] を選択してください。標準では [有効にする] が設定されています。

(4) ダウンロード

- [ファイルのダウンロード]

[有効にする] を選択してください。標準では [有効にする] が設定されています。

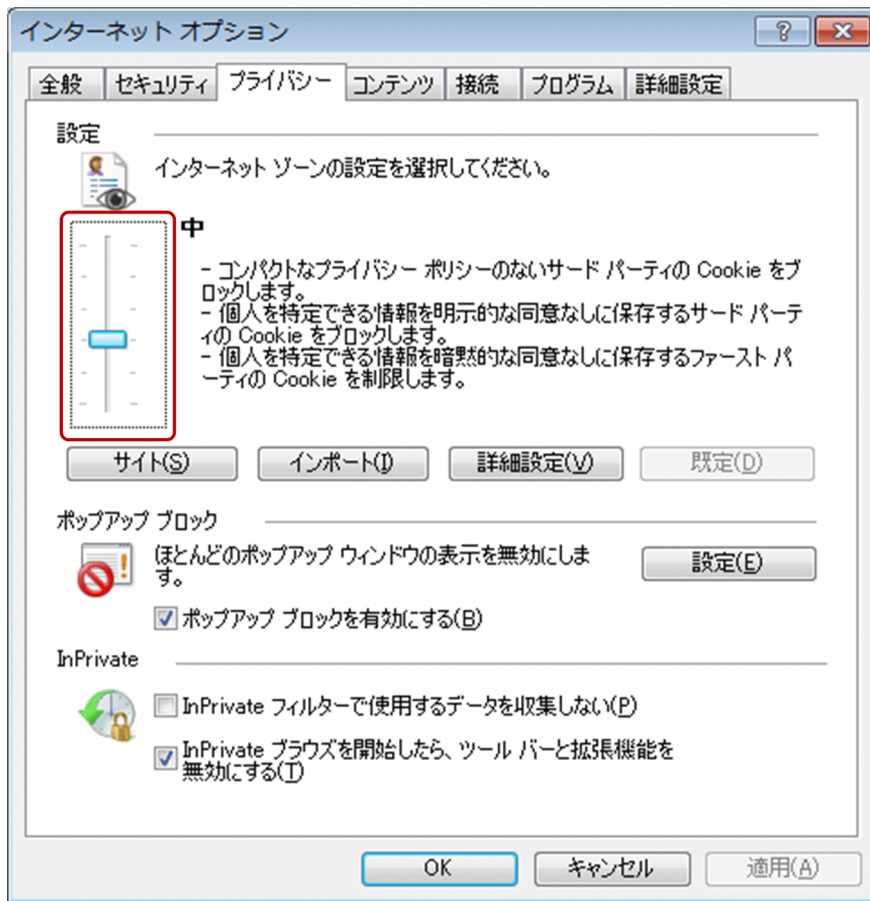
3.3.2 [プライバシー] タブ

[プライバシー] タブの設定について説明します。

JP1/DH - Server のサイトが [インターネット] に属している場合、Cookie の使用を許可する必要があります。

[インターネットゾーンの設定を選択してください。] で、[高]、[中-高]、[中] のどれかを選択してください。標準の設定は [中] です。

[高] を選択する場合は、JP1/DH - Server のサイトについて Cookie の使用を個別に許可する必要があります。[サイト] ボタンをクリックして [サイトごとのプライバシー操作] ダイアログを表示し、[Web サイトのアドレス] に JP1/DH - Server のサイトのドメイン（例：サイトが「jpldh-server.hitachi.co.jp」の場合「hitachi.co.jp」）を入力して [許可] ボタンをクリックしてください。

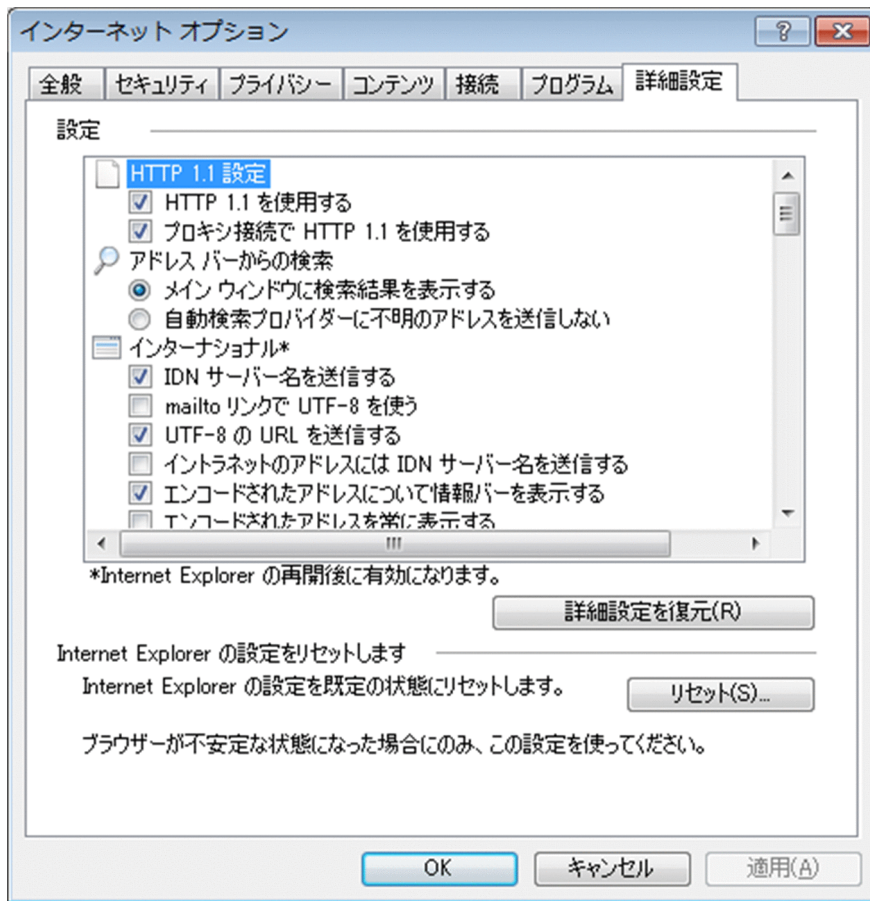


また、[詳細設定] ボタンをクリックすると表示される [プライバシーの詳細設定] ダイアログで、[自動 Cookie 処理を上書きする] を選択する場合、[ファーストパーティの Cookie] を [受け入れる]、または [ダイアログを表示する] のどちらかにしてください。

標準の場合、[自動 Cookie 処理を上書きする] は選択されていません。

3.3.3 [詳細設定] タブ

[詳細設定] タブの設定について説明します。



次の設定内容をご確認ください。

- HTTP 1.1 設定

- [HTTP 1.1 を使用する]
- [プロキシ接続で HTTP 1.1 を使用する]

両方を選択してください。標準の設定ではどちらも選択されています。

- セキュリティ

- [SSL 2.0 を使用する]
- [SSL 3.0 を使用する]
- [TLS 1.0 を使用する]
- [TLS 1.1 の使用] ※
- [TLS 1.2 の使用] ※

注※ Internet Explorer 8 以降の項目です。

JP1/DH - Server のサイトでは、SSL 3.0 または TLS 1.0 を使用できます。

SSL 2.0, TLS 1.1, TLS 1.2 は使用できません。このため、[SSL 3.0 を使用する] と [TLS 1.0 を使用する] のどちらか一方、あるいは両方を選択してください。標準の設定ではどちらも選択されています。

- 暗号化されたページをディスクに保存しない

選択しないことを推奨します。選択しないことにより、JP1/DH - Server の画面の表示速度が向上することがあります。標準の設定では選択されていません。

- マルチメディア

- [Web ページのアニメーションを再生する]

選択してください。標準では [有効にする] が設定されています。

- [画像を表示する]

選択してください。標準では [有効にする] が設定されています。

3.4 Java コントロールパネルの設定の確認

JP1/DH - Server をご利用になるためには、Java コントロールパネルの設定を適切に行っていただく必要があります。

ここでは、JRE 6.0 Update 24 の Java コントロールパネルについて説明しています。Update のバージョンが異なる場合、項目の有無や、項目の名称などが一部異なることがあります。

Java コントロールパネルを起動するには、Windows のコントロールパネルで [Java] を選択します。

3.4.1 [一般] タブ

[一般] タブの設定について説明します。

(1) ネットワーク設定

ネットワーク設定は、ご利用の環境に合わせて設定をしていただく必要があります。

通常は、[ブラウザの設定を使用] を選択してください。



注 意

Active Directory を使用している環境で [ブラウザの設定を使用] を選択した場合、JP1/DH - Server へアクセスできないことがあります。その場合は、[プロキシ・サーバーを使用] を選択して、ご利用のプロキシサーバの情報を入力してください。

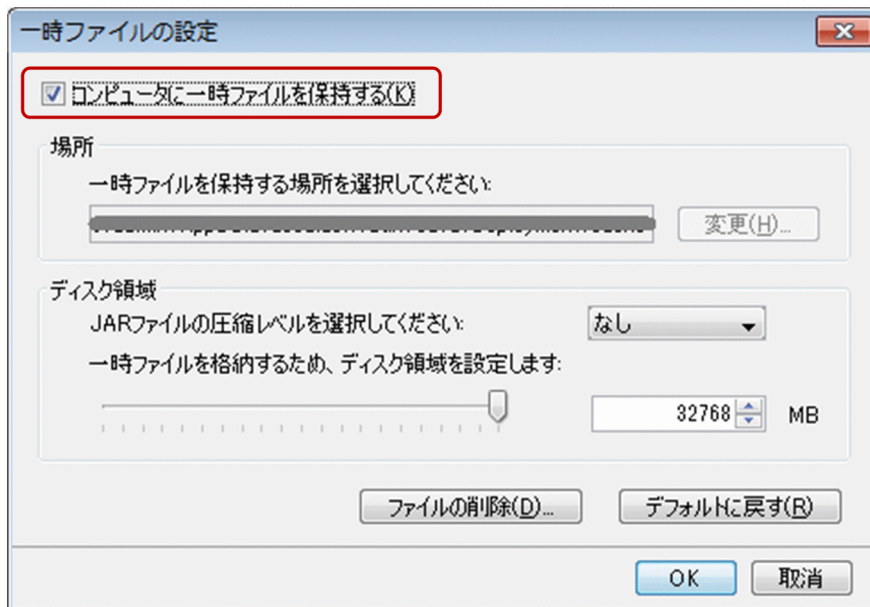
(2) インターネット一時ファイル

[設定] ボタンをクリックして表示される [一時ファイルの設定] ダイアログで、[コンピュータに一時ファイルを保持する] を選択することを推奨します。

2 回目以降の JP1/DH - Server アクセス時の画面表示速度が向上します。

標準の設定では選択されています。

なお、一時ファイルの保存場所には書き込み権限以上の権限を持つ実在するフォルダを指定してください。



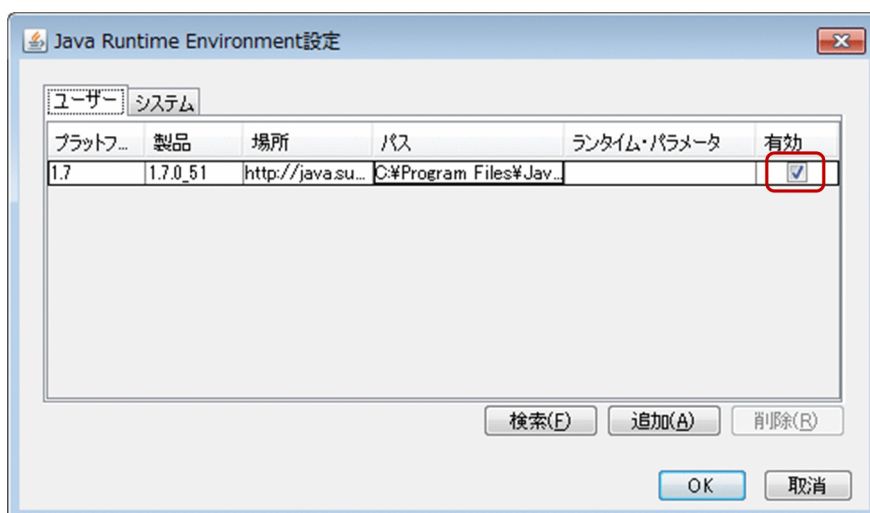
3.4.2 [Java] タブ

[Java] タブの設定について説明します。

(1) Java Runtime Environment 設定

[表示] ボタンをクリックして表示される [Java Runtime Environment 設定] ダイアログで、[ユーザ] タブの [有効] を選択してください。

標準の設定では有効になっています。



3.4.3 【詳細】 タブ

【詳細】 タブの設定について説明します。なお、次の設定はすべて標準で選択されています。

[Java Plug-in]

[次世代の Java Plug-in を有効にする (ブラウザの再起動が必要)] を選択してください。

[安全な実行環境]

- [ユーザが署名済みコンテンツへアクセス権を与えることを許可する] を選択してください。

[高度なセキュリティ環境]

- [ブラウザのキーストア内の証明書およびキーを使用する] を選択してください。

Windows XP の場合は、[設定] - [その他] で [Java Quick Starter] を選択することを推奨します。
JP1/DH - Server の画面表示速度が向上します。

3.5 送受信時トラブル対応の確認

送受信時トラブル対応の確認について説明します。

3.5.1 送信トラブルの場合（アドレス帳が表示されない場合）

送信トラブルの原因として、次のケースが考えられます。

- Java の起動に失敗している可能性 - JRE の実行が許可されていない場合
- Java は起動しているが、Java のプロキシ認証が成功していない場合
- Java は起動しているが、JP1/DH - Server のアプレットが実行できていない場合
- 上記に該当しない場合※

注※

「3.5.2 Java コンソールログの採取」の手順に従って採取したログを、システム管理者へ送付してください。

(1) Java の起動に失敗している可能性 - JRE の実行が許可されていない場合

ブラウザの上部に JRE の起動許可を求めるメッセージが表示される場合は、「アドオンの実行」をクリックしてください。

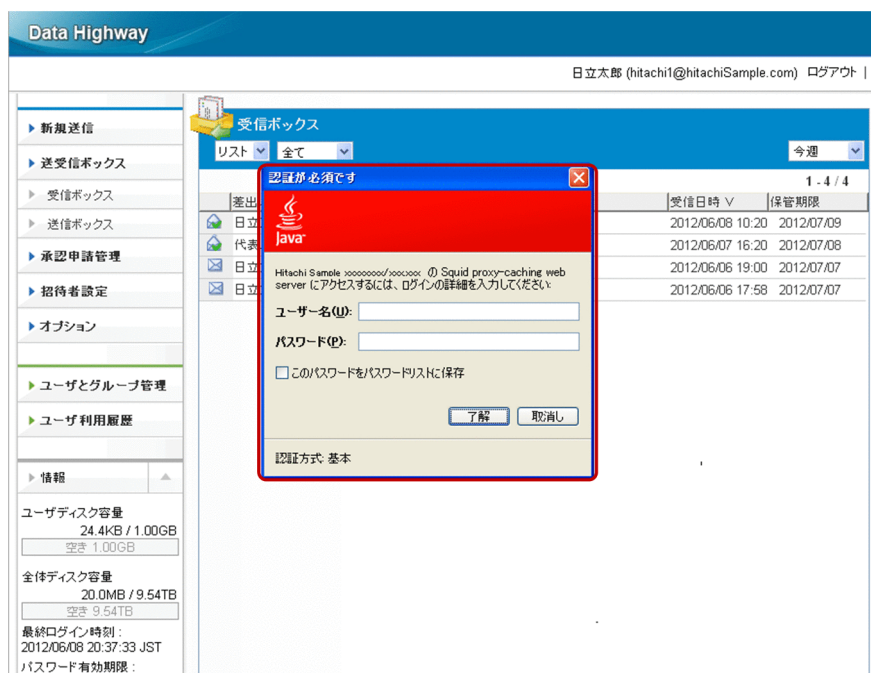
実行しないと、アドレス帳が表示されません。



(2) Java は起動しているが、Java のプロキシ認証が成功していない場合

プロキシサーバの認証ダイアログは表示されましたか？

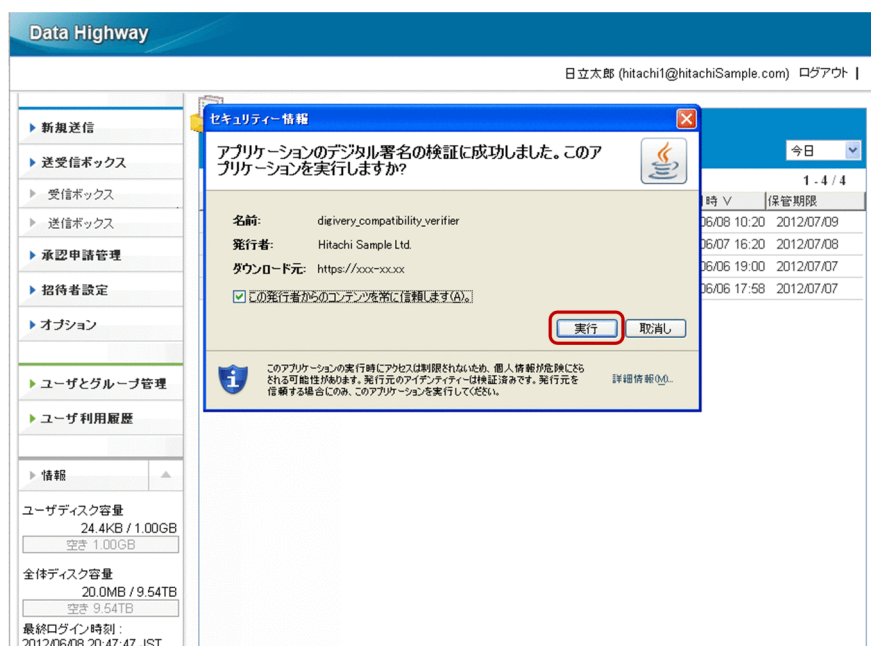
表示された場合は、ユーザ名とパスワードを入力してプロキシ認証を実行してください。この認証を実行しないと、アドレス帳が表示されません。



(3) Java は起動しているが、JP1/DH - Server のアプレットが実行できていない場合

JP1/DH - Server のアプレットを実行するかどうかを尋ねるダイアログが表示されましたか？表示された場合は「実行」をクリックしてください。

実行しないと、アドレス帳が表示されません。

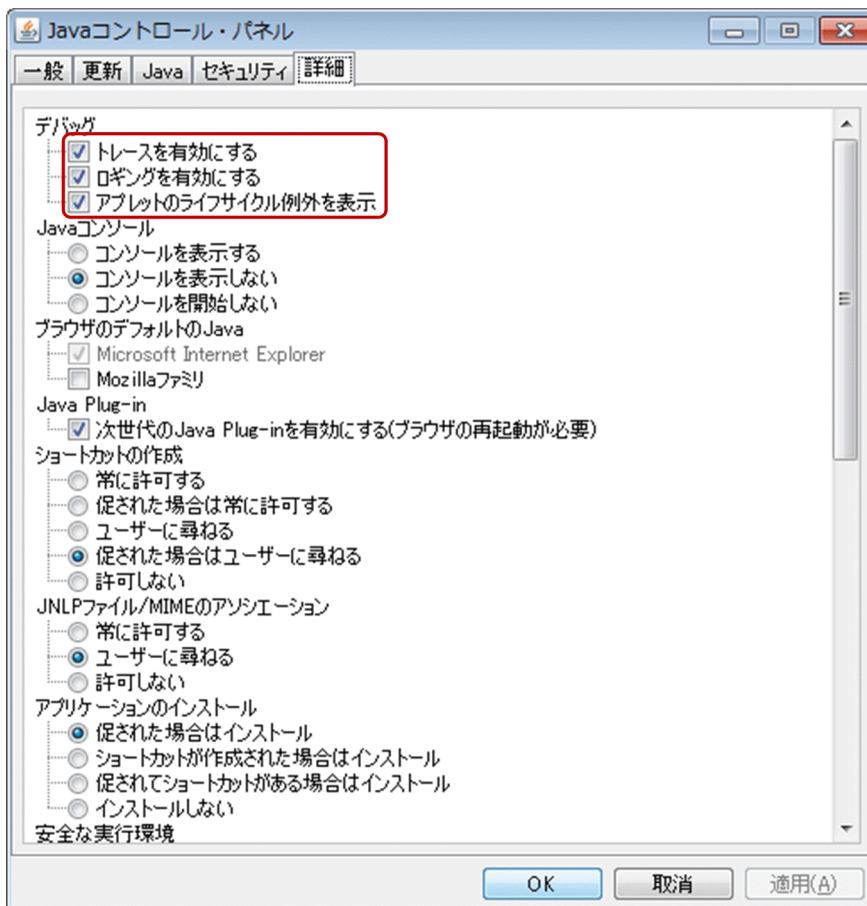


3. トラブルシュート

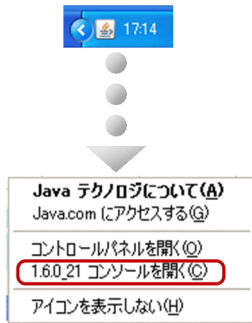
3.5.2 Java コンソールログの採取

障害が解決しない場合は次の手順で資料を採取し、システム管理者へ送付してください。

1. [スタート] – [コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] が表示されます。
2. [Java] アイコンをダブルクリックします。
[Java コントロールパネル] が表示されます。
3. [詳細] タブをクリックし、デバッグの項目をすべてチェックします。[OK] ボタンをクリックします。



4. Internet Explorer (IE) を再起動します。
障害が発生した時と同じオペレーションを実行します。
5. タスクトレイに Java アイコンが表示されます。アイコンを右クリックします。
「コンソールを開く」をクリックします。Java コンソールが開きます。



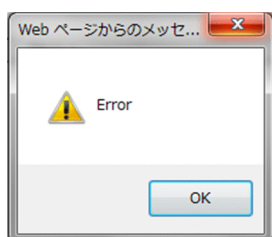
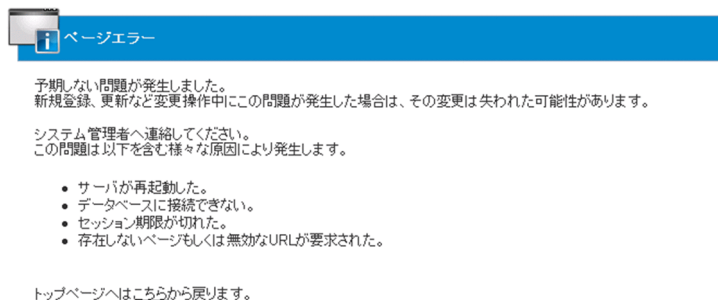
6. [コピー] ボタンをクリックします。

テキストエディタ（メモ帳など）に貼り付け、保存します。
保存したファイルを、システム管理者へ送付してください。



3.6 「ページエラー」または、「Error」ダイアログの回避手順

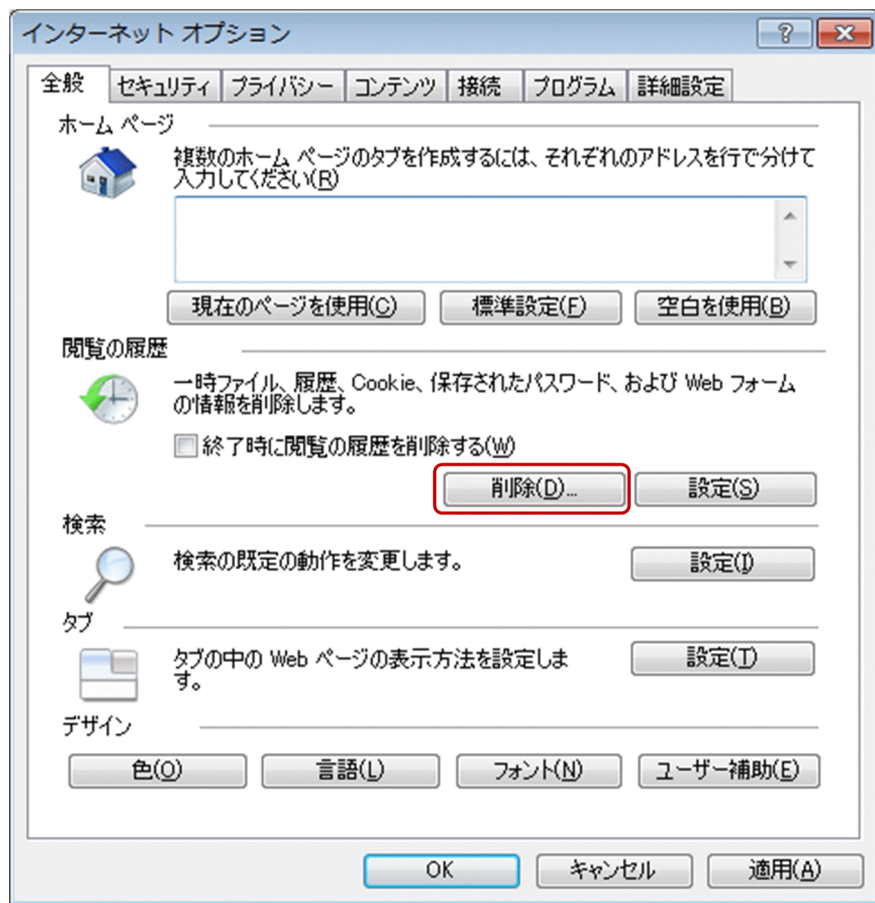
ブラウザに、「ページエラー」とのメッセージが表示された場合、あるいは「Error」ダイアログが表示された場合の回避策について説明します。



3.6.1 ブラウザのキャッシュクリア手順

1. ブラウザのメニューの「インターネットオプション」－「全般」タブの「閲覧の履歴」の「削除」ボタンをクリックします。

「閲覧の履歴の削除」ダイアログが表示されます。



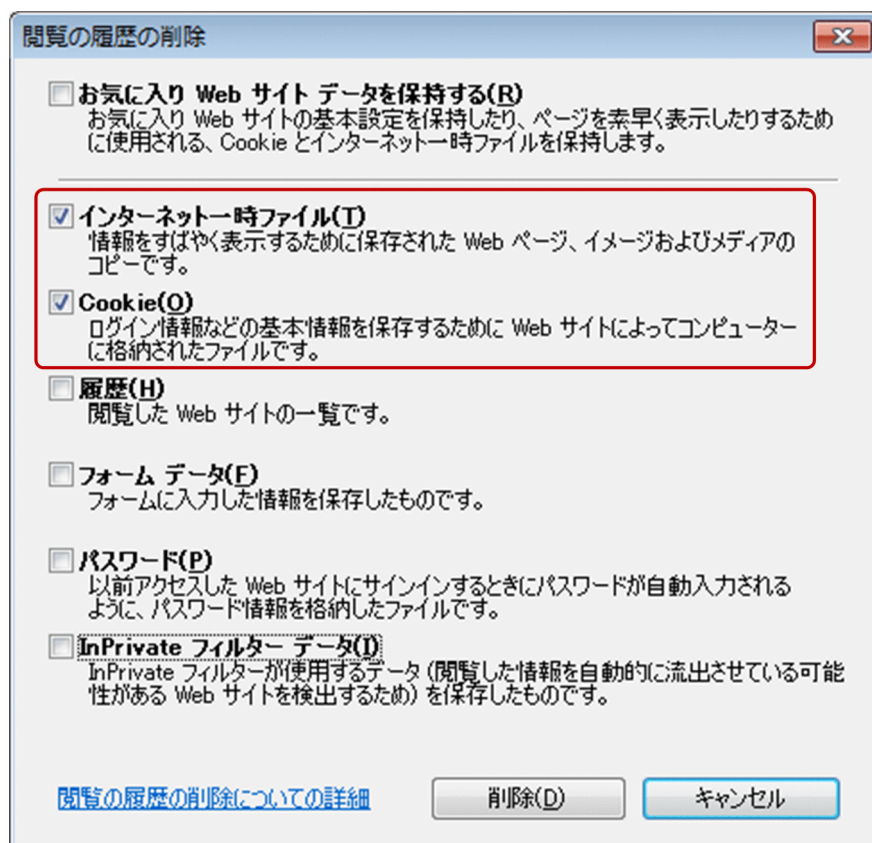
2. [インターネット一時ファイル]、および [Cookie] のチェックボックスを選択して、[削除] ボタンをクリックします。

閲覧の履歴が削除されます。

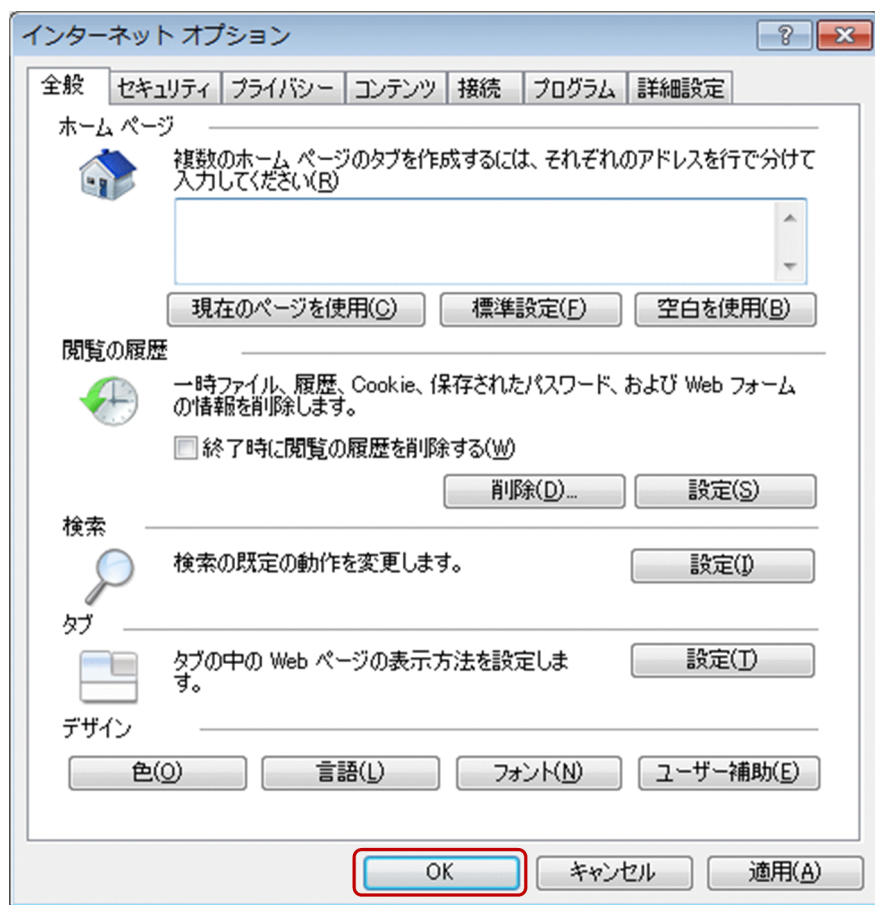


注 意

「JP1/DH - Server」をお気に入り Web サイトに登録している場合は、[お気に入り Web サイトデータを保持する] を選択しないでください。



3. [閉じる] ボタンをクリックします。[インターネットオプション] ダイアログが表示されます。
4. [OK] ボタンをクリックします。

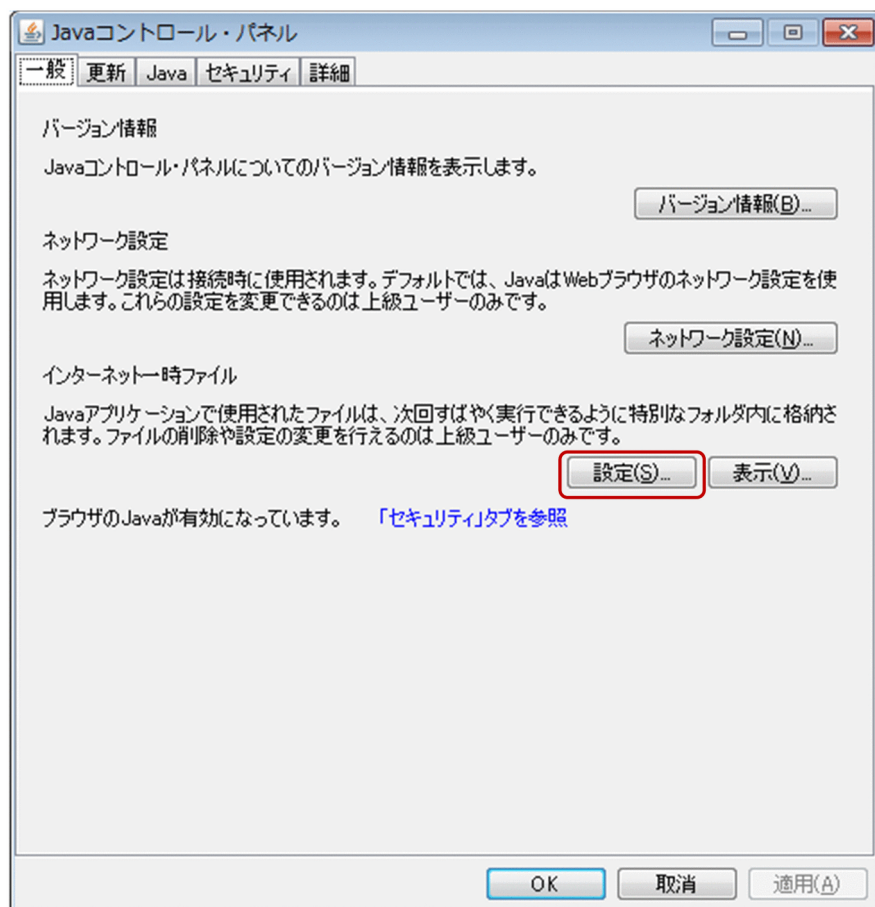


5. Internet Explorer(IE)を再起動します。

上記で改善できない場合、次の手順を実施してください。

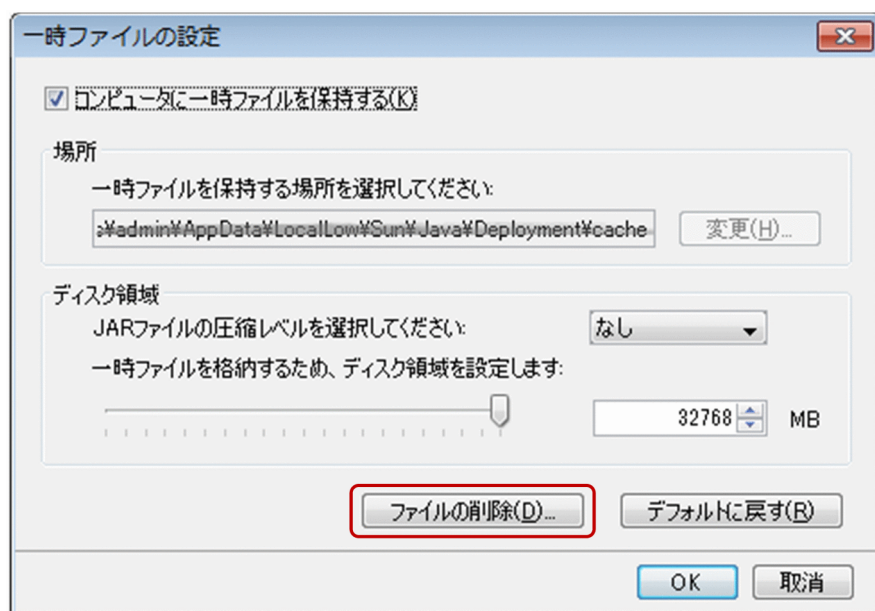
3.6.2 Java のキャッシュクリア手順

1. [スタート] – [コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] が表示されます。
2. [Java] アイコンをダブルクリックして [Java コントロールパネル] を表示します。
3. [一般] タブの [インターネット一時ファイル] – [設定] ボタンをクリックします。「ファイルの削除」ボタンをクリックします。
[一時ファイルの設定] ダイアログが表示されます。

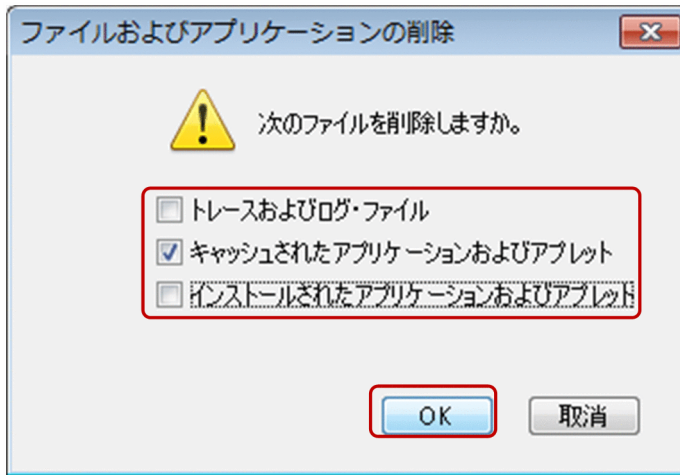


4. 「ファイルの削除」 ボタンをクリックします。

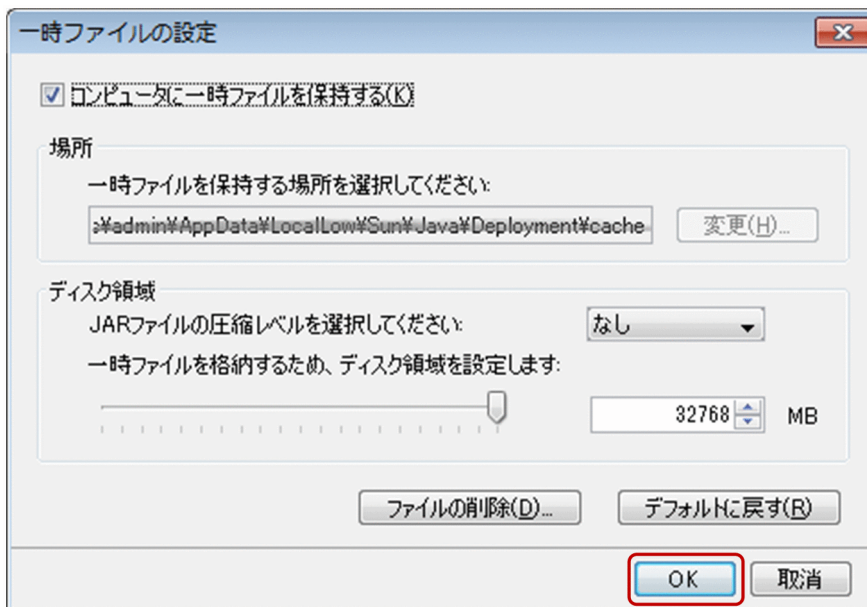
「ファイルおよびアプリケーションの削除」 ダイアログが表示されます。



5. 「キャッシュされたアプリケーションおよびアプレット」だけをチェックします。「OK」ボタンをクリックします。一時ファイルが削除され、「一時ファイルの設定」ダイアログが表示されます。



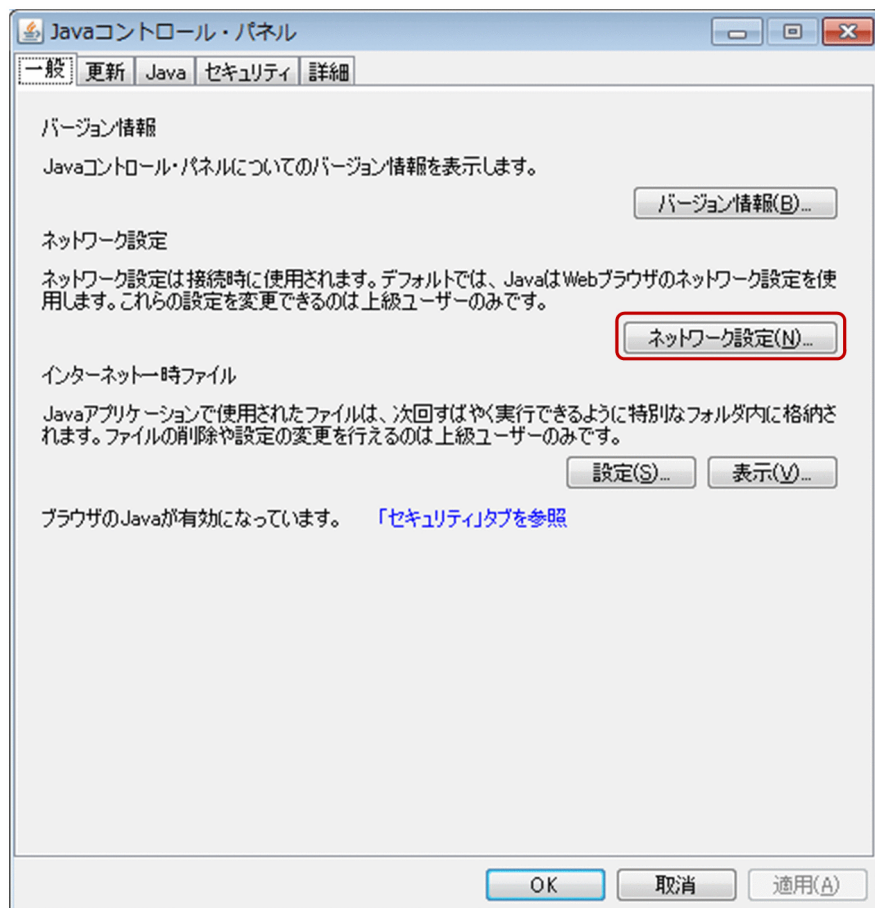
6. [OK] ボタンをクリックします。



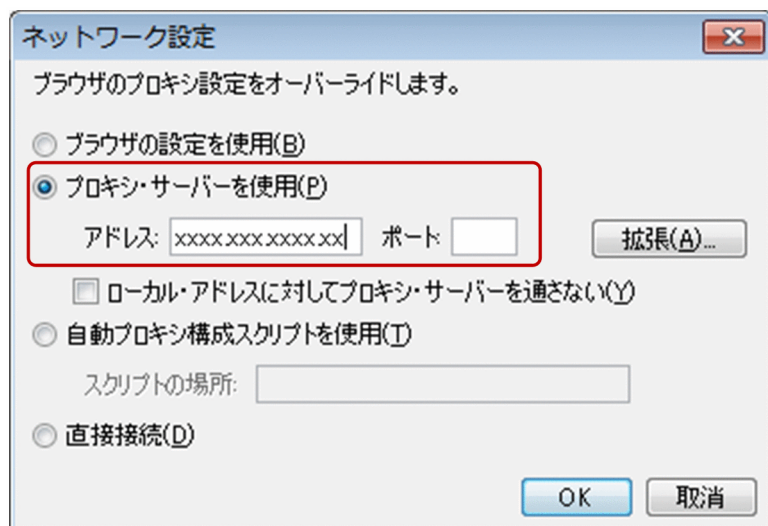
上記で改善できない場合、次の手順を実施してください。

3.6.3 Java のプロキシ設定手順

1. [スタート] – [コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] が表示されます。
2. [Java] アイコンをダブルクリックして [Java コントロールパネル] を表示します。
3. [一般] タブの [ネットワーク設定] – [ネットワーク設定] ボタンをクリックします。
[ネットワーク設定] ダイアログが表示されます。



4. [プロキシ・サーバーを使用] を選択して、プロキシサーバの IP アドレスとポート番号を入力します。



補足説明

プロキシサーバの IP アドレスとポート番号は、ネットワーク管理者にご確認ください。

5. [詳細] ボタンをクリックします。

[詳細ネットワーク設定] ダイアログが表示されます。

6. すべてのプロトコルで同じプロキシ・サーバーを使用する」をチェックし、[OK] ボタンをクリックします。

[ネットワーク設定] ダイアログが表示されます。

詳細ネットワーク設定

タイプ	プロキシ・アドレス	ポート
Http:	xxxx.xxx.xxx.xx	8080
Secure:	xxxx.xxx.xxx.xx	8080
Ftp:	xxxx.xxx.xxx.xx	8080
Socks:		

☒ すべてのプロトコルで同じプロキシ・サーバーを使用する(U)

次の文字で始まるアドレスに対してプロキシ・サーバーを使用しない

エントリを区切るにはセミコロン(;)を使用します。

OK 取消

7. [OK] ボタンをクリックします。

ネットワーク設定

ブラウザのプロキシ設定をオーバーライドします。

☐ ブラウザの設定を使用(B)

☒ プロキシ・サーバーを使用(P)

アドレス: xxx.xxx.xxx.xx ポート: 拡張(A)...

☐ ローカル・アドレスに対してプロキシ・サーバーを通さない(Y)

☐ 自動プロキシ構成スクリプトを使用(I)

スクリプトの場所:

☐ 直接接続(D)

OK 取消

3.7 お問い合わせについて

お問い合わせ時には、次の情報について記載をお願いいたします。

- 現象
 - 可能であれば画面キャプチャを採取してください。
 - Java コンソールログの採取
 - エラー内容（メッセージテキスト）
- 発生時刻
- 発生条件／操作手順
- ログインユーザ ID
- 他のクライアントで同じ現象が発生するかどうか
- 他のユーザで同じ現象が発生するかどうか

「[3.5.2 Java コンソールログの採取](#)」の手順に従って採取した Java コンソールのログの送付をお願いいたします。

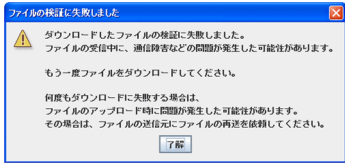
付録

付録 A FAQ

JP1/DH - Server のよくある質問と回答について、次の表に示します。

表 A-1 よくある質問と回答

項番	Question	Answer
1	ユーザ ID とパスワードでログインする際に、[ログイン] 画面で何度かパスワードを間違えて入力したところ、ログインできなくなりました。	JP1/DH - Server では連続して 5 回パスワードを間違えると、アカウントがロックされログインできなくなります。10 分経つと再びログインできるようになります。 早急にアカウントロック状態を解除したい場合は、代表ユーザ、またはグループ管理者にアカウントロックの解除を依頼してください。
2	[新規送信] 画面で一度選択したファイルを、ファイル一覧から削除できません。	次のどちらかの方法で削除できます。 • ファイルの一覧上で削除するファイルを選択し、マウスを右クリックして [削除] メニューを選択する • キーボードの Delete キーを入力する
3	[新規送信] 画面で指定するファイルの保管期限の日付ですが、どの国の日付なのでしょう？	JP1/DH - Server で扱う時間は、JP1/DH - Server が配置されている地域での時間になります。ファイルの保管期限の日付も、同様です。操作を行ったクライアント PC がある地域の日付ではないので注意してください。
4	[新規送信] 画面を表示した際、「オブジェクトでサポートされていないプロパティまたはメソッドです。」ダイアログが表示され、ファイルを選択する Java が表示されませんでした。	• [スタートメニュー] - [コントロールパネル] - [Java] - [一般] タブ - [バージョン情報] で、JRE のバージョンを確認します。使用できる JRE のバージョンについては「1.1.2(2) Java ソフトウェア」を参照してください。 • 次の方法で Java アプレットのプロキシの設定が正しいかを確認してください。 [スタートメニュー] - [コントロールパネル] - [Java] - [一般] タブ - [ネットワーク設定] で表示される [ネットワーク設定] ダイアログで、[ブラウザの設定を使用] とします。
5	[新規送信] 画面でショートカットファイルやアクセス権のないファイルを選択した場合、どのような動作になりますか？	ショートカットファイルをドラッグ&ドロップした場合は、ショートカットファイル(*.lnk)が送信されます。[ファイル選択] ボタンからショートカットファイルを選択した場合は、その参照先の実体が送信されます。 アクセス権のないファイルをドラッグ&ドロップした場合は、[送信開始] ボタンを押したあとに「ファイルが見つかりませんでした」というエラーメッセージが表示され、送信できません。
6	[新規送信] 画面でファイルを送信中に、エラー画面が表示されました。	ファイルの送信中に次に示す操作をすると、エラー画面が表示され、ファイルの送信に失敗します。 • 送信ユーザの削除 • 受信ユーザの削除 • 承認ルート上のユーザの削除 代表ユーザ、またはグループ管理者に、該当のユーザが削除されていないかを確認してください。
7	[新規送信] 画面のメッセージ欄に入力した文字列が、画面に表示されるまでに時間が掛かります。	配送が可能かどうかをチェックしているため、画面への反映には、しばらく時間が掛かります。

項番	Question	Answer
		文字列を入力したあと、すぐに表示されない場合は、しばらくお待ちください。
8	【新規送信】画面を表示した際、[Failed to read input] ダイアログが表示され、アップロードができません。	【新規送信】画面の表示が完全に終わる前に画面を操作すると、このダイアログが表示される場合があります。【新規送信】画面の表示が完全に終わるまで、操作をしないでください。 【アドレス一覧】が表示されると、画面の表示は完了です。
9	【受信ボックス】画面で、メニューアイコンから【詳細表示】を選択しても【受信アイテム】画面が表示されません。	配送元のユーザが削除されたか、無効となっている可能性があります。この場合、ファイルの受信ができなくなります。 また、【詳細表示】を選択したタイミングで配送ルールの再評価が行われます。配送時に送信元ユーザからの配送が許可されていた場合でも、【詳細表示】を選択するタイミングで許可されていないときは、【受信アイテム】画面が表示されません。
10	【受信ボックス】画面で、ファイルをダウンロードしようとしたところ、「不正な通信手順が検出されました」と表示され、ダウンロードできません。	ダウンロードの直前で配送元のユーザがファイルを削除した可能性があります。配送元のユーザにお問い合わせください。
11	【ダウンロード】ボタンが非活性となり、ダウンロードできません。	次に示す理由で、ファイルをダウンロードできない場合があります。 • 配送元ユーザが、ファイルのダウンロード回数を制限している。 • ファイルの保存期間が過ぎている。 • 配送元ユーザが、ファイルの送信履歴を削除した。 • サーバに導入されているウィルス対策ソフトによってファイルが削除された。
12	ファイルダウンロード時「ファイルの検証に失敗しました」と表示され、ファイルがダウンロードできません。 	ダウンロードしたファイルが不完全であることが検知されました。 もう一度ファイルをダウンロードし直してください。 何度もこのダイアログが表示される場合は、アップロード時の障害により、アップロードしたファイルが不完全であるおそれがあります。その場合、ファイルの送信元に再送を依頼してください。
13	【新規招待者】画面で招待者を作成、または【招待者編集】画面で招待者を編集しようとしたところ、「メールアドレス (xxx@xxx.xx)は既に登録されています。」というメッセージが表示され、招待者を作成、または編集できません。	JP1/DH - Server では、メールアドレスを重複して登録できません。 代表ユーザ、グループ管理者や他の招待者を招待したユーザに、作成または編集しようとしているメールアドレスを使用していないかを確認してください。 使用していない場合に、左記メッセージが表示されるときは、代表ユーザまたはグループ管理者へご連絡ください。
14	【新規招待者】画面で招待者を作成しようとしたところ、「登録に失敗しました。登録可能なユーザ数を超えています。ユーザを削除してから登録を行ってください。」というメッセージが表示され、招待者を作成できません。	登録可能なユーザ数は、システム管理者がドメインに割り当てたユーザ数までです。 削除できるユーザが存在しない場合は、代表ユーザ、またはグループ管理者に連絡し、ユーザの削除を依頼してください。

項番	Question	Answer
15	64bit 版 OS で 64bit 版の Internet Explorer を使用して JP1/DH - Server にアクセスしたら、毎回 Java のインストーラが起動して、JP1/DH - Server を使用できません。	ご使用の環境に 64bit 版の JRE がインストールされていません。 「1.1.2(2) Java ソフトウェア」に記載の JRE (64bit 版) をインストールしてください。
16	Java 7 update21 以前を使用している場合に、JP1/DH - Server の [新規送信] 画面にセキュリティ警告ダイアログが表示されます。	セキュリティ警告ダイアログが表示された場合は、「ブロックしない」または「いいえ」を選択してください。 JP1/DH - Server はコンピュータのデータに不正なアクセスはしないため、安心してご利用ください。
17	ファイル送信の完了後やダウンロードの起動中・起動後、証明書認証中、クライアント環境確認中に Internet Explorer の画面の操作ができなくなりました。	Java の設定が不完全な場合、この現象が発生することがあります。次の設定が有効かを確認してください。 操作できなくなった Internet Explorer は、タスクマネージャなどを使用して終了させてください。 - Java 設定 [スタートメニュー] - [コントロールパネル] - [Java] - [Java] タブ - Java Runtime Environment 設定の [表示] ボタンをクリックして、[有効] チェックボックスが選択されているかを確認してください。 [スタートメニュー] - [コントロールパネル] - [Java] - [詳細] タブ - [Java Plug-in] - [次世代の Java Plug-in を有効にする (ブラウザの再起動が必要)] が選択されているかを確認してください。
18	Internet Explorer 8 以降の環境で、Java が起動しません。	Internet Explorer が次の設定かどうかを確認してください。 Internet Explorer 8 以降の場合 「互換表示」機能：有効 Internet Explorer 10 の場合 - 拡張保護モード：無効 - 本サーバ URL を信頼済みサイトに登録する (保護モード：無効)
19	画面操作中に、「Error」とだけ書かれたダイアログが表示されました。	処理のタイミングの問題で、まれにこのダイアログが表示されることがあります。 このダイアログが表示された場合は、ブラウザを終了して再度ログインしてください。それでも改善しない場合は、ブラウザのキャッシュと Cookie を削除すると改善することがあります。
20	画面操作中に「この Web ページに問題があるため、Internet Explorer のタブを開き直しました。」というエラーメッセージが表示されました。	Internet Explorer 9.0 かつ JRE6 Update 23 以前の組み合わせで発生します。 Internet Explorer を互換表示に設定するか、Update 24 以降の JRE6 を使用してください。
21	画面操作中に次のメッセージが表示されました。 - オブジェクトでサポートされていないプロパティまたはメソッドです。 - オブジェクトは 'Verify' プロパティまたはメソッドをサポートしていません。※	ご使用の JRE のバージョン、またはマイナーバージョンが古い可能性があります。最新版の JRE を使用してください。

項番	Question	Answer
	注※ メッセージ中のプロパティ名は異なることがあります。	
22	JP1/DH - Server を操作中に、次のダイアログが表示されます。 「セキュリティ情報アプリケーションのデジタル署名の検証に成功しました。このアプリケーションを実行しますか。」 どのように対処したら良いでしょうか。	JP1/DH - Server をご利用いただくには Java アプリケーションを起動する必要があります。この Java アプリケーションが悪意のある者により改ざんされていないことを証明するために、デジタル署名を付与しています。 このダイアログが表示されたら「発行者」が「Hitachi Solutions, Ltd.」となっていることを確認して [実行] ボタンをクリックしてください。なお、チェックボックスを選択すると次回からこのダイアログは表示されません。

付録 B.1 10-10 の変更内容

- 次の前提 OS をサポートしました。
 - Windows 8
- 次のソフトウェアをサポートしました。
 - Internet Explorer 10
 - Java Runtime Environment Version 6.0 (64bit 版)
 - Java Runtime Environment Version 7.0 (64bit 版)
- ローカルフォルダ以外のファイル/フォルダや、アクセス速度が遅いドライブ (SD カードなど) に存在するファイル/フォルダを送信する場合に、ローカルにコピーしてから送信する機能をサポートしました。
- ダウンロード時の保存先にローカルフォルダ以外のフォルダを指定する場合に、ローカルに受信してからコピーする機能をサポートしました。
- アイコンのデザインを変更しました。
- JP1/Data Highway - AJE で送信した配送が、エラーとなったことをアイコンで表示するようにしました。
- 新規送信時の保管日数の上限に、システム管理者が設定した値が表示されるようにしました。
- 3.96GB を超えるファイル/フォルダを送信できるようにしました。
- 受信ボックスに表示する配送データの処理状況を、プルダウンメニューで選択できるようにしました。
- 承認が必要な配送の場合に、送信ボックスの履歴詳細で承認者を確認できるようにしました。
- 複数のファイルを一度に送信した場合に、ファイルごとのダウンロード状況を確認できるようにしました。

付録 C このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

付録 C.1 関連マニュアル

関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

- JP1 Version 10 JP1/Data Highway - Server 管理者ガイド (3021-3-142)

付録 C.2 このマニュアルでの表記

このマニュアルでは製品名称について次のように表記しています。ただし、それぞれの製品についての表記が必要な場合はそのまま表記しています。

製品名称	略称	
Java™ Runtime Environment	Java Runtime Environment	JRE
JP1/Data Highway - Automatic Job Executor	JP1/Data Highway - AJE	

付録 C.3 英略語

このマニュアルで使用する英略語を次に示します。

英略語	英字での表記
CPU	Central Processing Unit
FAQ	Frequently Asked Question
HTTP	Hyper Text Transfer Protocol
ID	Identification
JRE	Java Runtime Environment
OS	Operating System
SSL	Secure Socket Layer
TLS	Transport Layer Security
URL	Uniform Resource Locator

付録 C.4 デフォルトのインストール先フォルダ

JP1/DH - Server のデフォルトのインストール先フォルダは次のとおりです。

- デフォルトのインストール先フォルダ
システムドライブ:¥Program Files¥Hitachi¥jp1dh¥server

付録 C.5 KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト）、1MB（メガバイト）、1GB（ギガバイト）、1TB（テラバイト）はそれぞれ 1,024 バイト、 $1,024^2$ バイト、 $1,024^3$ バイト、 $1,024^4$ バイトです。

(ア行)

一般ユーザ

JP1/DH - Server を利用してファイルの送受信を行うユーザです。

代表ユーザまたはグループ管理者によって管理されます。

代表ユーザまたはグループ管理者から権限を割り当てられることで、ユーザの招待と、招待したユーザの管理を行うこともできます。

(カ行)

グループ

ユーザの管理単位です。

代表ユーザまたはグループ管理者によって管理されます。

グループ管理者

代表ユーザまたは他のグループ管理者によって、一部のグループの管理権限を与えられたユーザです。

管理対象のグループ内のユーザ／グループの管理と、送受信履歴の参照ができます。

高速通信モード

ファイルの送信を高速に行うことができる設定です。ファイルを新規送信する場合に選択できます。ただし、ご利用の環境によっては、プロキシサーバやファイアウォールの設定などの理由により、高速通信モードでファイルを送信できないことがあります。

(サ行)

システム管理者

JP1/DH - Server のドメイン、代表ユーザを管理するユーザです。

招待者

権限を割り当てられた一般ユーザによって作成された一般ユーザのことです。

代表ユーザまたは招待を行った一般ユーザによって管理されます。

JP1/DH - Server を利用してファイルの送受信を行うことができます。ただし、ユーザの招待を行うことはできません。

承認者

配送を承認する一般ユーザのことです。

承認ルート

ファイル配送の承認者と承認時の条件を定めた規則です。配送ルールに組み込まれます。代表ユーザによって管理されます。

承認ルートの承認者は複数設定できます。複数の承認者が設定された場合、いずれかの承認者が承認を許可または却下すると、承認操作が完了します。

全体ディスク容量

ドメインに割り当てられたディスク容量です。空き容量を超えてのファイル送信はできません。代表ユーザが設定します。

(タ行)

代表ユーザ

1 つのドメインを管理するユーザです。

システム管理者によって管理されます。

ダウンロード制限

1 ヶ月間にダウンロード可能な容量の合計です。

代表ユーザが設定します。

ドメイン

JP1/DH - Server の管理単位の 1 つです。システム管理者によって作成され、代表ユーザが割り当てられます。

(ハ行)

配送

ファイルやメッセージ送信することを配送と呼びます。

配送先ユーザ

ファイルやメッセージを受け取る側の一般ユーザのことです。

配送ポリシー

ファイルの最大サイズや、ファイルの保存期間などの、ファイル配信に関する規則です。

代表ユーザによって管理されます。

配送元ユーザ

ファイルやメッセージを送信した一般ユーザのことです。

(マ行)

未登録ユーザ

JP1/DH - Server のシステムに登録されていないユーザです。

JP1/DH - Server 上で未登録宛先への送信が許可されているユーザから、開封パスワードが設定されたメールを受信できます。

未登録ユーザはファイルの受信以外の機能は使用できません。

(ヤ行)

ユーザ

代表ユーザ、グループ管理者、一般ユーザ、および未登録ユーザを含めた、JP1/DH - Server の利用者です。

ユーザディスク容量

ユーザ 1 人当たりの保管容量です。ユーザディスクの空き容量を超えてファイルを送信できません。

ユーザの招待

一般ユーザが JP1/DH - Server のユーザを追加する操作のことです。ユーザの招待を行うには、ユーザの招待権限を割り当てられている必要があります。

索引

記号

[Java] タブ 63
[一般] タブ 62
[詳細] タブ 64
[詳細設定] タブ 59
[新規送信] 画面に関する注意事項 15
[セキュリティ] タブ 56
[電子証明書認証] でログインする 21
[標準パスワード認証] でログインする 20
[プライバシー] タブ 58
「ページエラー」または、「Error」ダイアログの回避手順 69

J

Java コンソールログの採取 67
Java コントロールパネルの設定の確認 62
Java のキャッシュクリア手順 72
Java のプロキシ設定手順 74
JP1/DH - Server の操作 19

W

Web ブラウザの画面設定に関する注意事項 15

い

インターネットオプションの設定の確認 56

お

お問い合わせについて 77
オプションを設定する 50

く

クライアント環境を確認する 55

こ

ご利用上の注意 15
ご利用になる前に 11

し

システムに登録済みのユーザがファイルを受信する 35
システムに未登録のユーザがファイルを受信する 37
受信ボックスからファイルを受信する 38
招待者を作成/編集する 46
招待者を設定する 46
招待者を有効化/無効化/削除する 49
承認申請を管理する 43
承認申請を許可/却下する 44

せ

前提 OS 12
前提環境 12
前提ソフトウェア 13

そ

送受信時トラブル対応の確認 65
送受信履歴を確認/削除する 40
送信トラブルの場合（アドレス帳が表示されない場合） 65
その他の注意事項 17

た

ダウンロードに関する注意事項 16

と

トラブルシュート 52, 53

は

パスワードを変更する 50

ふ

ファイル/メッセージを送信する 28
ブラウザのキャッシュクリア手順 69

め

メール記載 URL から承認申請を許可/却下する 43

メール記載 URL からファイルを受信する [35](#)

メール言語を変更する [51](#)

り

利用権限と画面構成 [24](#)

ろ

ログインまたはログアウトする [20](#)